

八号、同二十日附第五七九号、同日附第五八五号及同二十三日附第五九〇号往信ニテ郵送セリ

九三 十二月二十三日

内田外務大臣ヨリ
在米國佐分利臨時代理大使宛(電報)

米國ニ対スル我回答覚書ヲ國務長官ニ交付及

説明方訓令ノ件

第六六九号

貴電第七五四号國務省覚書ニ対シ帝國政府ハ別電第六七〇号ノ通回答スルコトニ決シタルヲ以テ貴官ハ至急國務長官ニ面会ヲ求メラレ右回答覚書交付ノ上適宜必要ノ説明ヲ加ヘテ長官ノ賛同ヲ得ル様努メラレ結果電報アリタシ別電ト共ニ英ヘ転電シム(郵送方申添ヘラレタシ註 別電第六七〇号ヲ省略ス右別電ハ前掲十二月十二日附閣議決定ノ別紙覚書案ト同文ナリ

九四 十二月二十八日

在米國佐分利臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国外債整理問題ニ関スル我方ノ覚書ヲ米國

國務長官ニ交付セル旨報告ノ件

第八二四号

(十二月三十日接受)

貴電第六六九号ニ関シ

十二月二十八日國務長官ニ面会ノ上貴電ノ覚書ヲ交付シタル処当日ハ時間ノ都合上充分応酬ノ暇ナカリシヲ以テ緩々熟読センコトヲ請ヒテ引取りタリ。尚貴電覚書案ハ電文不明ノ箇所数多アリタルモ大体ハ想像附キタルヲ以テ当方ニテ整理シタル次第ナル処該案第一項ノ内 If only for the protection and consolidation of the floating loans ノ文句ハ米國覚書ノ意味ニハ充分合致セザルノ虞アリタルヲ以テ If only for the ノ四字ヲ削リ其ノ代リニ For the purpose of meeting immediate administrative needs and furnishing ノ十字ヲ入ルルト共ニ後段ノ to meet immediate administrative needs ノ五字ハ之ヲ削除シ置ケリ。右ハ重要ノ点ニアラザルノミナラズ成ルベク速ニ先方ニ交付スル方然ルベシト存ジ、経伺ヲ俟タズ、取計ヒタル儀ニ付御承認ヲ請フ。覚書写郵送ス。
在英大使ニ転電セリ。

事項三 中国関税改訂ニ関スル件

九五 二月六日

在英國林大使ヨリ
内田外務大臣宛

中国関税會議ニ関シ意見具申ノ件

機密公第六号

(三月二十二日接受)

大正十一年二月六日

在英

特命全權大使男爵 林 權助(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

支那関税會議ニ関シ意見上陳ノ件

支那関税ニ関スル華府會議決議ノ結果近キ将来ニ支那関税ニ関スル特別會議ト上海ニ於ケル関税改正委員會トカ開催セラルル次第ト思料セラレ候処今回華府ニ於テ列國カ独リ支那関税現実五分再改訂ニ止マラス更ニ二分五厘ノ附加税増徴ヲ承諾スルニ至リタルハ右決議前文ニ明示セラルルカ如ク支那ノ收入ヲ増加シテ支那今日ノ財政窮迫ヲ救ハムトノ列國ノ好意ニ出テタルモノニ有之而シテ右ノ結果最大ノ犠牲ヲ払フ者ハ支那ニ於テ最大ノ貿易額ヲ有スル帝國タル

メ単ニ必要ノ場合ニ限り支那政府ニ於テ之カ輸出ヲ禁止シ得ルコトトナスヲ得ハ一方支那側トシテモ實際ノ必要ヲ充タスヲ得ヘク又帝國ニ於テハ食料ノ補給上之レカ為不少便益ヲ享受シ得ルニ至ルヘキニ付右ノ改正ハ支那側ニ於テ容易ニハ応諾セサルヘキモ兎ニ角本邦側ニ於テ今回多大ノ犠牲ヲ忍ヒテ関税ノ増徴ヲ応諾スルニ対シテ支那ヲシテ之ヲ承諾セシムル様極力帝國委員ヲシテ尽力セシムルコト希望ニ不堪処ニ有之候

二、今回列国ニ於テ各自国民ノ負担ニ於テ支那関税ノ増収ヲ企図シタルニ拘ラズ右ノ結果タル関税増収ガ依然トシテ從來ノ如ク香上銀行乃至一二銀行ノミニ供託セラレ此等銀行ノミ独リ利益ヲ受クルニ至ルガ如キハ甚タ不都合ノ次第ナルニ付此点ハ既ニ本年二月一日ノ第二十九回極東總委員會ニ於テ「アンダーウッド」ノ陳述アリ、仏、白、蘭側ニ於テモ其不適ヲ認メ居レルカ如ク思考セラルルヲ以テ旁右関税會議ニ於テ少クトモ今回ノ関税改訂ノ結果生スル増収ニ付テハ之ヲ「アンダーウッド」ノ説ノ如ク支払能力アル支那銀行ニ供託スルカ若シ外国銀行ニモ保管セシムル場合ニハ其決定ヲ支那政府若クハ總稅務

ノ次第ハ二月十六日附機密第三二号拙信ヲ以テ及報告置候通ニ有之候処之ト行違ヒニ別紙写ノ通支那側ヨリ二月十七日附ヲ以テ本件ハ早メニ上海ニ於テ開会致度ニ付本邦派遣委員氏名予メ承知致度旨再応照会致越候間御査閱相成度尚本會議支那側委員ハ既ニ東方通信ニテ御承悉ノ通二月十日附大統領指令ヲ以テ主任蔡廷幹副主任周伝経、委員頼発洛、施弼、周典任命有之候此段報告旁申進候也

本信写送附先 在上海船津總領事

註 二月十四日外務大臣第九四号省略セルガ右ハ中国関税改訂正委員會ノ我方委員ヲ目下詮議中ナル旨ヲ中国側ニ回答スル様訓令セル電報ニシテ二月十六日附機密第三二号ハ右訓令ニ基キ小幡公使ヨリ二月十六日顔外交総長ニ送レル公文ノ写ヲ外務大臣ヘ送付越ノ公信ナリ

(附屬書)

二月十七日附顔外交総長ヨリ小幡在中国公使宛公文定字第三五号

上海関税會議ヘ派遣ノ日本側委員ニ付問合ノ件

照会定字第三五号

外交総長 顔

為

照会事修改中国海関税則一事業經本部於本年一月十二日照

司一己ノ自由ト為シ得シメスシテ必ス主要關係国ノ銀行ニ適當ノ割合ニ依リ(例ヘバ貿易額ノ比例ニ依ルカ如キ)保管セシムルコトトスルコト甚タ望マシキ次第ニ有之尚此段ニ関シテハ予メ篤ト米國側トノ間ニ協議ヲ遂ケ日米協同之ヲ右委員會ニ於テ主張スルコトヲ得バ目的達成上有利ト思料被致候此段申進候也

九六 二月二十二日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

上海関税會議派遣日本委員ノ氏名ヲ中国側ヨリ

り問合及中国側委員ニ付報告ノ件

附屬書

二月十七日附顔外交総長ヨリ小幡公使宛公文
定字第三五号写

右問合ノ件

附記

中国側委員略歴

機密第三六号

(二月二十七日接受)

大正十一年二月二十二日

在支那

特命全權公使 小幡 西吉 (印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

本件ニ関シ貴電第九四号御申越ノ趣敬承本件支那側ヘ回答

請

貴公使轉達

貴国政府派員赴上海組織委員會会同辦理估算貨価事宜在案
尚未准復現中国政府願將此事早日舉辦相応再行照会

貴公使査照轉催

貴国政府迅速派定人員並希將所派員名知照本部以便尅期在

上海開会至深綏荷須至照会者

右 照 会

大日本国欽命駐華全權公使小幡

中華民國十一年二月十七日

(附記)

中国側委員略歴

上海関税改訂委員會支那側委員略歴 (外務省通商局
調)

主任委員 蔡廷幹 字耀堂 京兆大興県人 年齡五十余歳
現在稅務処会辦

広東香山県ニ生ル初メ上海出洋總局ニ学ヒ同治十二年 (一八七三年) 官費ヲ以テ米國ニ留学シ「ハートフォード」中

学「ニウーブリデン」高等学校ニ学ヒ居ルコト九年ニシテ光緒七年帰国ス嗣イテ太沽水雷学校ニ修学シ同年水雷艇管帶十八年水雷艇隊司令官ニ累進シ日清戦争ノ当時ハ黄海、威海衛ニ転戦ス宣統二年参将ニ三年海軍部軍制司長トナル袁世凱ノ直隸総督時代ヨリ其幕僚ト為リ民国元年高等軍事参謀海軍中将ニ補シ二年塩務稽核処ノ総辦同年九月稅務処会辦三年五月總統府副礼官ヲ兼任シ民国七年ニ支那關稅改訂委員長現任稅務処会辦タリ

副主任委員 周伝経 字賛堯 江蘇嘉定県人現任通商司長
前清中北京国子監並ニ同文館ヲ卒業ス嗣イテ外務部司務主事、駐澳公使館二等参贊官トナル民国成立後外交部僉事ヨリ通商司長ニ昇任ス年齡四十有余
委員 周典 字紹聞 京兆大興県人
現任 農商部工商司第二科僉事

前清時代京師大学堂師範館ヲ卒業シ光緒三十年英国ニ留学シ「ヴィクトリヤ」大学商科ニ入り宣統元年卒業帰国セリ嗣イテ米国ニ留学ヲ命セラレ「ペンシルバニヤ」大学商科ニ入り商科碩士ノ学位ヲ得宣統二年帰国ス同三年以来北京大学教授、農商部僉事ニ歴任 年齡四十四

九八 三月二十四日

内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛（電報）

上海関税會議ノ日本側委員任命ハ若干延引ス
ルニ付會議開催ノ延期ヲ中国側ト折衝方訓令
ノ件

第一七四号

貴電第一五四号及第一五七号ニ関シ

我方ニ於テモ成ルヘク支那側ノ希望ニ副フ様諸般ノ準備ヲ進メ居リ船津上海總領事ノ外大蔵省税関鑑査官早川繁雄農商務技師大山清一郎其他一二名ヲ委員トシテ任命派遣スルコトニ内定シ居ル処目下議會ノ閉会期モ一兩日中ニ迫リ居ル折柄予算等ノ關係上三月三十一日ニ間ニ合フ様委員ノ任命手續ヲ了スルコト到底不可能ナルニ付差当リ右ノ趣支那側ニ何等誤解ナキ様篤ト御説明ノ上前記委員内定ノ次第ヲモ内示セラレタク尚我方派遣ノ委員ハ右ノ事情ニ依リ早クトモ四月八九日頃ナラテハ上海ニ到着シ難キ処上海總領事宛本大臣宛電報第六四号ノ次第モ有之支那側ニ於テモ成ルヘク我方委員ノ間ニ合フ様開會ノ時期ヲ定メラレタキ旨先方ノ了解ヲ得ラレタク結果電報アリタシ

三 中国関税改訂ニ関スル件 九八 九九

委員 施弼 字伯安 福建閩侯県人
現任農商部工商司第五科科長 技正
委員 頼発洛（不明）

九七 三月二十日

在上海船津總領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

中国側ハ関税改正委員会ヲ三月三十一日開催
七月終了ノ予定ナルコト及英米仏伊ノ委員ニ
付報告ノ件

第六一号

（三月二十一日接受）

関税改正員トシテ北京ヨリ来着セル LyaII ガ内山ニ語レル所ニ依レバ支那側ハ三月三十一日ヨリ會議ヲ開催スル積リニテ夫々準備シツツアリ蔡廷幹当地到着ノ上ハ會議開催ヲ促スベク會議ハ七月末迄ニ終了ノ予定ナリ尚英国ハ商務官「フォックス」ヲ米国ハ北京公使館二等書記官ヲ仏国ハ商務官「ナイト」ヲ伊太利ハ上海總領事「ロッシ」ヲ夫々委員ニ任命セリト云フ
在支公使ヘ電報セリ

本電上海ニ転電アリタシ

註 小幡公使三月二十一日發第一五四号、三月二十二日發第一五七号ヲ省略セルガ右ハ外交部ガ上海関税會議ノ日本委員ノ至急任命ヲ希望シ居ルコト、他諸國ノ委員任用状況等ヲ報告セルモノナリ
尚上海總領事三月二十二日發第六四号ヲ省略セルガ右ハ中國委員蔡廷幹ガ三月二十一日船津總領事ニ對シ関税改訂會議開催日取ハ兩三日中ニ各國側ト協議ノ上決定スル積ナリト語レル旨ヲ報告セルモノナリ

九九

三月二十八日 閣議決定

上海関税會議參加ニ関スル件

本年一月支那政府ハ同國関税再改訂ノ時期既ニ到来セルコト並華府會議ニ於テ支那関税現実五分改訂ノ決議アリタルコトヲ理由トシ近ク上海ニ於テ改訂會議ヲ開催シタキ趣ヲ以テ本邦委員ノ選任派遣ヲ求メ来リ今般更ニ三月三十一日ヲ以テ右改訂會議ヲ開催シタキ趣ヲ以テ本邦委員ノ参加ヲ招請シ来レリ
支那関税現実五分改訂ニ関スル華府會議ノ決議ハ其後同會議ノ調印セル支那関税條約中ニ含マルルコトトナリタルヲ以テ該決議事項ハ前記関税條約ノ批准寄託ヲ俟チテ始メテ

其ノ効力ヲ生スル儀ナルモ元来本件現実五分改訂ノコトタル客年支那政府ヨリ前回改訂ノ際ニ於ケル戦後二年再改訂ニ関スル關係国間ノ了解ヲ援用シテ改訂ノ提議ヲ為シ来リタル際我方ニ於テハ當時之ヲ承認スル趣旨ニテ客年七月五日閣議決定ノ次第モ有之將又前記華府會議決議中ニハ特ニ改訂會議ヲ決議採用後四ヶ月以内ニ完了セシムル趣旨ニテ成ル可ク早く其ノ進行ヲ計ルヘキ旨ノ規定ヲ存シタル精神ニ鑑ミルモ今回支那側ニ於テ改訂會議ノ開催ヲ提議シ来リタルニ対シテハ帝國政府トシテハ關係諸国側ノ応諾ヲ条件トシ欣然参加ノ意向アル旨ヲ回答スルト共ニ前回改訂ノ際ノ例ニ倣ヒ外務、大蔵、農商務三省ヨリ適任者ヲ委員トシテ上海ニ派遣シ商議折衝ノ任ニ当ラシムルコトト致度シ右閣議ヲ請フ

註 右請議案ノ冒頭余白ニ左ノ記入アリ

「大正十一年三月二十八日閣議決定（内田外相印）」

一〇〇 三月二十八日

在上海船津總領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

上海関税會議開催日延期ノ我方希望ニ対スル

蔡中国側代表委員ノ回答報告及措置振請訓ノ件

一〇一 四月一日

在上海船津總領事ヨリ
内田外務大臣宛

中国関税再改訂委員會ノ予備会合ノ状況報告

ノ件

機密第一一九号

（四月十日接受）

大正十一年四月一日

在上海

總領事 船津 辰一郎（印）

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

支那関税再改訂委員會プレリミナリー、ミーチング

開催ノ件

三月三十一日發往電第七六号^{（註1）}ヲ以テ不取敢及報告置候通り支那関税再改訂委員會ノプレリミナリー、ミーチングハ支那委員ノ希望通り三月三十一日午後二時十五分当地總商會ニ開催セラレ候処本官ハ三月二十八日發貴電第四三三号^{（註2）}ノ趣旨ニ基キ同会合ガ単ニ發会式ニ止マリ事務ハ討議セザル旨ヲ確メタル上臨席スルコトト致候定刻ニ至ルヤ別添名簿ノ通り支那委員ノ外十二ヶ国代表者ハ会場ニ集合シ別紙議長表ノ通り着席シ蔡廷幹氏議長席ニ就キ各国委員ニ対シ

第七二号

（三月三十日接受）

貴電第四〇号ニ関シ^{（註）}

二十八日蔡廷幹ニ面会シ御電訓ノ趣旨ヲ伝ヘタル処蔡ハ未ダ関税委員ノ任命無キハ日米兩國ノミナルガ米國ハ上院ニテ条約批准ノ結果多分兩三日中ニ任命スベク商務官「アーノルド」ハ委員トナラザルベク元支那税関長タリシ「カーチング」ハ単ニ「ソシアル」ノ会合ニ止メ事務ハ一切討議セザル考ナルニ付日本委員ガ間ニ合ハザルニ於テハ本官ノミニテモ此際至急正式任命ヲ受ケ此ノ会合ニ出席セラルル様切望ス但都合ニ依リテハ其ノ開催ヲ兩三日延期スルモ差支無キ旨述べタルニ依リ本官ハ不取敢支那側希望ノ次第本邦ヘ取継ギヲ承諾シ置ケリ何分ノ儀御回訓ヲ請フ在支公使ヘ転電ス

註

三月二十四日内田外務大臣發船津總領事宛第四〇号ヲ省略セルガ右ハ関税會議開催ヲ四月十日以後トスル様蔡廷幹ヲ

説得方船津總領事ニ訓令セル電報ナリ

歡迎ノ挨拶ヲ述べ「前回ノ関税改訂ハ大戦争破壊時代ニ行ハレタルガ今回ノ會議ハ社会的の不安ト經濟的の紛乱ノ時代ニ開カレントス目下世界ハ改造ノ時期ニ当リ國際の親交並共助ヲ最モ必要トスル時ナリ而シテ本委員會ハ単ニ税率ヲ決定スルニ止マラズ世界ノ重大問題ノ一ヲ解決スルノ自覺ヲ以テ進マザルベカラズ列國ノ會議ハ自他ノ立場ヲ了解スルニ最モ効果多キモノニシテ本委員會ニ於テハ各國自國ノ利益ヲ擁護スルト同時ニ他國ノ立場ニ同情シ以テ満足ナル結果ヲ挙ゲルコトヲ切望ス」トノ意ヲ演述シ首席領事タル丁抹總領事「ラスコー」氏ハ会衆ニ代リテ蔡委員長ニ対シ簡單ナル謝辭ヲ述べ英國委員「フォックス」氏ハ前回會議當時委員ニシテ再任セラレタル各國委員ニ代リテ挨拶ヲ述べ蔡委員長及ライアン氏ノ如キ經驗深キ人士ノ會議ヲ指導スルアリテ各國委員ハ支那ガ当然受クベキ所ヲ与フルニ全力ヲ尽スベキコトヲ疑ハズト述べ次デシャンパンノ杯ヲ挙ゲテ相互ニ健康並前途ヲ祝福シ蔡委員長ハ日米委員ハ近ク任命セラレ上海ニ到着スベキヲ以テ彼等ノ到着ヲ待ツテ事務ヲ開始シタキ旨ヲ述べ何等事務ヲ討議スルコトナク午後三時頃散会致候

別紙名簿議席表及新聞記事切抜相添此段及報告候

(註3)

敬具

追テ各国委員ノ正確ナル名簿ハ判明次第可及追送候
北京公使写送

註1 船津総領事ノ第七六号電報(ブレリミナリ、ミーティ
ングニ関スル報告)省略セリ

2 外務大臣三月二十七日發第四三号ヲ省略セルガ右ハ船津
総領事ノ請訓ニ答ヘブレリミナリ、ミーティングニ出
席スル様訓令セルモノナリ

3 名簿以外ノ添附書類ヲ省略ス

(別紙)

ブレリミナリ、ミーティング出席各国委員名簿

英 国 Mr. H. H. Fox (商務官)

Mr. A. H. George

仏 国 Mr. J. Knight (商務官)

Mr. H. Mader (上海商業會議所会長)

Mr. Fredet (商務官附書記官)

伊 太 利 Mr. De Rossi (総領事)

和 蘭 Mr. W. Daniels (総領事代理)

Mr. Herschleb

西班牙 Mr. L. R. Amedo (領事)

葡萄牙 Mr. A. Casanova (総領事)

瑞 典 Baron Akerhielm (総領事)

Mr. Renborg (商務官)

諾 威 Mr. N. Aall (総領事)

Mr. M. F. Sem

白耳義 Mr. Von Haute (総領事代理)

Mr. L. Straetmans

丁 抹 Mr. T. Raschou (総領事)

Mr. J. Jespersen

伯刺西爾 Mr. Hugo Reiss (総領事代理)

支 那 蔡廷幹 主任

L. A. Lyall 副主任

周伝経 (外交部通商司長)

施 弼 (農商部技師)

許 沆 (上海交渉使)

許金水 会辦(稅務処員)

廖世功 会辦(外交部員)

其他数名出席

米国委員ハ未ダ任命ナキヲ以テ出席セズ

日本代表者トシテ船津出席

一〇二 四月四日 閣議決定

中国輸入関税率改訂ニ関スル方針決定ノ件

支那輸入関税率現実五分改訂ノ為近ク上海ニ開催セラルヘ
キ委員会ニ列席スヘキ帝国委員ニ対シテハ左記ノ方針ニ基
キ支那側ノ希望ニ好意的考量ヲ加フルト共ニ関係国委員ト
ノ間ニ成ル可ク協調ヲ保ツノ趣旨ヲ以テ我方主張ノ貫徹ニ
努力スヘキ旨訓令スルコトト致シ度シ

右閣議ヲ請フ

記

一、現行輸入税目改訂ノ範圍ニ付テハ全部改訂ヲ認ムルモ
差支ナキコト

二、課税価格算定ノ標準年度ハ一九一七年乃至一九一九年
ノ三年間ヲ第一案トシ一九一七年乃至一九二〇年ノ四年
間ヲ第二案トシタキモ會議ノ形勢ニ依リテハ直ニ第二案
ヲ提議シ之カ通過ニ努ムルコト一九二一年度ハ之ヲ標準
年度ヨリ除外スルコト

三 中国関税改訂ニ関スル件 一〇二

三、改訂税率算出ノ基礎ハ原則トシテ支那税関統計價格表

ニ記載スル輸入價格ニ拠ルコトトシ右價格カ市価ト著シ
キ相違アル場合及税目變更等ノ為之ニ拠リ難キ場合ニハ
支那市場價格、輸出港價格、支那税関申告價格其ノ他信
憑スヘキ價格ヲ参酌シ委員会ニ於テ適當ナル標準價格ヲ
決定スヘキコト

四、改定税率ノ算出ニ際シテハ本邦重要輸出品ニ付甚シキ
増率ヲ見サル様成ル可ク適當ノ調整ヲ施スニ努ムルコト
五、現行ノ税目分類ハ原則トシテ之ヲ維持スルコト但シ現
行税目分類ノ下ニ於テ著シク負担ノ均衡ヲ失シ居ル品目
ニ付テハ之カ矯正ヲ計ルノ趣旨ヲ以テ其ノ分類ノ變更ヲ
主張スヘキコト

六、支那税関事務取扱振ノ改善方ニ関シテハ前回改訂委員
会ノ決議及其後ニ於ケル支那側ノ施設ニ鑑ミ必要ナル提
案ヲ為スコト

七、改訂税率ヲ現行輕減率ニ依リ陸境ニ適用スルノ件問題
ト成リタルトキハ最惠国民待遇ノ主義ニ反セサル限り之
ヲ承認スルモ差支ナキコト

註 右請議案ノ冒頭余白ニ左ノ記入アリ

「大正十一年四月四日閣議決定（内田外相印）」

一〇三 四月五日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛（電報）

中国関税改訂會議派遣ノ日本委員任命ニ付中
国政府ニ通告方訓令ノ件

第一九四号

往電第一七四号ニ関シ

船津総領事、村上外務事務官、早川税関監査官、大山農商務技師以上四名ハ四月五日附ヲ以テ支那関税改訂會議ニ委員トシテ参列仰付ケラレ外務属白倉精一、大藏技手原田信行、農商務技手荻田才之助、輸出品監督官補品川正和以上四名ハ同日附ヲ以テ右委員附ヲ命ゼラレタリ右支那政府ニ正式通告アリタシ

上海総領事へ転電アリタシ

一〇四 四月六日 在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

中国関税委員ヨリ第一回委員会ニ提議スル意
向ノ決議案ヲ各国委員ニ通達ノ件

第八五号

準年度ハ果シテ適當ナル時期ナルヤ又余リ短キニ過キサレヤト思ハルカ貴見如何ト尋ネタル処「ア」ハ物価ハ今後到底戦前ノ価格迄低落スル見込無ケレハ一九二一年位ノ価格ハ最も標準トシテ適當ナラムカ又六ヶ月ハ別段短キニ過クルトモ思ハストノ口吻ヲ漏シタルカ右ハ果シテ「ア」ノ真意ナルヤ或ハ支那側ニ対スル迷惑上殊更ニ右ノ如ク答ヘタルモノナルヤ不明ナルモ不取敢御参考迄
在支公使へ郵送セリ

一〇六 四月二十一日 在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

上海関税會議第一回會議ニ於テ中国委員最近
六ヶ月ノ上海市価ヲ新税率ノ基礎トスル案ヲ
提議シ各国委員意見陳述ノ件

別電 同日在上海船津総領事宛内田外務大臣宛電報関
改第八号
英国提案ノ指数ニ依ル税率算定方法ノ説明

関改第七号

（四月二十二日接受）

四月二十日第一回會議開催十四ヶ国委員全部出席蔡委員長
ノ議事規則ニ関シ往電関改第二号ノ提案アリ帝國委員ハ該

三 中国関税改訂ニ関スル件 一〇六

支那関税委員ハ第一回委員会ニ於テ左記決議案ヲ提議スル
意向ナル旨蔡委員長ノ名ヲ以テ各国委員ニ通達セリ
（一）前回改訂委員会ノ議事規則ヲ其ノ儘採用スルコト

（二）昨年十月ヨリ本年三月ニ至ル上海市場価格ヲ新税率ノ標準
トシテ採用スルコト、右価格ヲ計算スルニ当リ本委員会
ニ於テ Price ヲ有セザル諸国ヨリ輸入セラルル商品ハ之ヲ
除外スルコト、各商品ノ輸入数量ハ大連、天津、上海、漢
口及広東税関一九二一年ノ統計ニ依ルコト
転電先 北京

一〇五 四月七日 在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

中国関税委員提議ノ課税価格算定ノ標準年度
ノ長短ニ付米國委員ノ意見打診ノ件

関改第一号

往電第八五号ニ関シ Lyall ハ一九二一年十月以降六ヶ月ヲ
以テ標準年度トスルハ各国側ニ於テ余リ短キニ過クルトノ
意見ナル時ハ之ヲ同年四月以降一ヶ年ニ延長スルコトハ支
那側ニ於テ余リ異存無カルヘシト思料スル旨申居リタル処
今七日米國委員「アーノルド」来訪ノ際右支那側申出ノ標

規則ガ其ノ「レター」ヨリ「スピリット」ニ於テ前回改訂
ノ場合ト同様ニ解釈セラルベシトノ了解ノ下ニ賛成スル旨
ヲ述べ全会一致ニテ可決セリ次デ蔡ハ既報ノ通最近六ヶ月
ノ上海市価ヲ新税率ノ基礎トスベキ案ヲ提出シ「ライアル」
ヨリ右ハ単ニ不公平ナル税率ノ甘受ヲ避ケントスル趣旨
ニ外ナラザルニ付税収上何等不利益ヲ支那ニ及ボサザル限
リ他ノ如何ナル提案ヲ採用スルモ可ナリトノ補助的説明ヲ
ナシ暗ニ対案ノ提出ヲ「サゼスト」シタルガ之ニ対シ英國
委員ハ本國政府後日ノ承認及「ピースグッツ」ニ限り「イ
ンデックス、ナムバー」ニ依ル税率算定方法採用方ノ二点
ヲ条件トシテ賛意ヲ表シ且ツ「ピースグッツ」ノミニ特例
ヲ設ケントスルハ該商品ガ英國ノ対支貿易上最重要ノ地位
ヲ占メ而モ季節ニ依リテ取引ノ繁閑ヲ異ニシ冬期重目物、
夏期軽目物多ク需要セラルル關係上六ヶ月間ノ短期間ニ於
ケル平均市価ヲ以テ公正ナル税率ヲ算定シ難キ事情ニ基ク
ニ外ナラズト指数ニ依ル税率算定ノ方法ヲ説明シ（別電
関改第八号参照）尚前記英國ノ留保附賛成ハ在支英國当業
者ト協議ノ結果決定シタルモノナル処短期間ヲ標準トシテ
而モ公正ヲ失セズ本委員会 Work ヲ「シムプリファイ」

シテ改訂ヲ速カナラシムル実益アリト信ズル旨ヲ述べ次デ
米仏両委員又「フオックス」ノ所説ニ associate シ同時ニ
「アーノルド」ハ支那ハ其ノ「エンタイトル」スル五分ヲ
現実ニ得ベキモノナリ云々「ナイト」ハ実行ノ際ハ市況ヲ
モ参酌シテ指数ニ適切ナル一般の調整ヲ加フルノ必要アリ
云々ト附言セリ次イデ帝國委員ハ閣下御訓令ノ方針^(註2)二及三
ノ趣旨ヲ綜合一括シタル決議案ヲ対案トシテ提出シ且ツ
標準年度トシテ長期ヲ採ルニアラザレハ或種ノモノ及国ニ
對シテ不公平ナル負担ヲ蒙ラシムル虞アリ^(二)税関統計ノ公
表セラレタル年ノミヲ採ルコト改訂ヲ迅速容易且ツ公正ナ
ラシムルニ於テ必要ナリ^(三)現実五分相当ナル字句ハ最近ノ
短期間ノミヲ採ツテ「アンリゾナブル、バリュエーション」
ヲナスガ如キ意味ニ解スベキニアラズ先例ニ見ルモ改
訂前ノ少クモ一ヶ年ハ除外セラル^(四)戦後各国ノ経済状況及
對支貿易上ノ模様為替相場等未ダ常態ニ settle セザル現状
ニ於テ戦時戦後各二ヶ年ヲ採ルハ極メテ妥当ナリ^(六)上海ニ
於ケル価格以外他港輸入品ノ価格ヲモ考慮ニ入ルベキ筋合
ナリ等ノ諸点ニ関シ適當ノ説明ヲ与ヘ全会ノ賛同ヲ求メタ
ル処「アーノルド」ハ前記各国委員ノ支那案ニ對スル条件

関改第八号(別電)

(四月二十二日接受)

(一)英國委員ノ説明ニ依レバ指数ニ依ル税率算定ノ方法ハ
「ピース、グッツ」中ノ重ナル輸入品所謂「スタンダード、
グッツ」十五種乃至二十種ヲ選ビ其ノ各ニ付キテ前回改訂
當時ノ基礎価格ヲ百トシ之ニ對シ夫々支那提案ノ六ヶ月間
ニ於ケル上海市価平均額ヲ指数ニテ算出シ更ニ之ガ指数ノ
平均ヲ求メ以テ「スタンダード、グッツ」ノ市価平均増加
割合ヲ得タル上之ニ依リテ總テノ「ピース、グッツ」ノ現
行税率ヲ一律ニ増額シ新税率トスルモノナリ
(二)尚「フオックス」ハ右方法ニ依レバ一般ニ高価ナル英國
製「ピース、グッツ」ノ負担自ラ増大シ支那ニ too much
ヲ与フル嫌アリ又他面英國品ヨリモ廉価ニシテ然モ税目上
之ト區別セラレザル外國品ニ不公平ノ負担ヲ課スル虞アル
処右ハ關係各國ヨリ夫々自國品ノ指数ヲ提供シ適當調整ヲ
計ルニ依リテ大ニ緩和スルヲ得可シト附言セリ

一〇七 四月二十一日

在広東藤田總領事ヨリ
内田外務大臣宛

中国ニ於ケル外國輸入品ニ對スル不當課税ニ

関シ報告ノ件

三 中国関税改訂ニ関スル件 一〇七

附同意ノ「ステートメント」竝我方提案及其ノ説明等ヲ一
括印刷シテ委員ニ配布シ其ノ研究ニ資セシムベキ旨ヲ發議
シ結局蔡委員長ヨリ今後一週間内ニ印刷廻送スベキニ付各
員ニ於テ成ルベク速ニ研究ヲ遂ゲラレ度ク次回ノ期日ヲ定
メラルベキ旨ヲ述べテ閉会セリ尚我對案ニ對シ英米和蘭等
皆充分考慮スベキ旨ヲ述べタルガ同時ニ英米委員ハ税関統
計価格ニ重キヲ置カンカ前回改訂ト同様徒ラニ会期ヲ引延
スル虞アリト附言シ和蘭委員ハ一九一七・一八兩年ハ同國
ノ對支輸出杜絶シタル「アブノーマル」ノ年ナルニ付之ヲ
標準年度トスルハ面白カラズト云ヘリ
本電別電ト共ニ在支公使ヘ転電セリ

註1 船津總領事四月八日發関改第二号ハ前掲四月六日同總領

事發外務大臣宛第八号ノ蔡委員長通告文ノ英文全文ヲ
外務大臣訓令ニ応ジ電報セルモノナリ省略セリ

2

閣下御訓令トアルハ前掲四月四日ノ閣議決定ヲ四月六日
外務大臣ヨリ我方委員ニ訓令セルモノナリ(此ノ訓令ハ
四月六日村上委員携帶シテ上海ニ赴ケリ)

(別電)

四月二十一日在上海船津總領事發内田外務大臣宛電報関改第八
号

英國提案ノ指数ニ依ル税率算定方法ノ説明

機密第三二号

(五月八日接受)

大正十一年四月二十一日

在広東

總領事 藤田 栄介(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

從來各國ハ支那ニ輸入スル外國品ハ輸入者ガ外國人タルト
支那人タルトヲ問ハズ開港地ニ於テハ関税以外一切ノ課税
ヲ免除セラルベキモノナリト主張シ又内地ニ輸送スル外國
輸入品ハ関税ノ外更ニ抵代税ヲ支払ヒ途中一切ノ釐金ヲ免
除セラルル規定ニ有之候処今日支那ノ実情ヲ見ルニ開港地
ニ在ル外國人ガ直接輸入スル外國品ニ對シテハ敢テ釐金ヲ
課セザルモ商品ガ外國人ノ手ヨリ支那人ノ手ニ引渡サレタ
ル後並ニ開港地ニ在ル支那人ガ直接外國品ヲ輸入スル場合
ニハ関税以外夫々釐金ヲ徴シ居レル実例有之殊ニ内地ニ輸
送スル外國品ガ目的地ニ達シタル後其地並ニ輸運先ニ於テ
各種ノ名目ヲ以テ一再ナラズ之ニ釐金ヲ課セラレ居ルコト
ハ想像ニ難カラズ自然外國品ガ支那ニ輸入セラレタル後実
際ニ負担シ居レル課税額ハ案外驚クベキ數額ニ上リ居レリ
ト考フベキ理由ナキニ非ズ過般當地ニ於テ問題トナリタル

烟酒印花税ノ如キハ支那側ガ公然規則ヲ發布シタル為特ニ
外人ノ注意ヲ喚起シタルニ止リ一般外国品モ税額ノ差コ
ソアレ殆ド全部同様不当ノ待遇ヲ受ケツツアルモノノ如ク
ニ被存候先日在当地葡国副領事ハ森岡副領事ニ対シ本件不
当課税ニ関シ現ニ在当地葡国人間ニ問題ヲ惹起シ居レル趣
ヲ以テ日本側ノ態度ヲ聞合セタル由ナルガ森岡ハ本件ハ各
国全体ニ關係セル問題ナレバ単ニ一国トシテ抗議スルモ解
決ノ見込無キガ如ク加之対支外交上比較的複雑困難ノ地位
ニ立テル日本ヨリ輕卒ニ单独抗議ヲナスガ如キコトアラバ
或ハ却テボイコットヲ挑発シ毒蛇ヲ出スノ愚ヲ演ズル恐ア
ルヲ以テ今日迄ハ当館トシテハ何等積極的措置ヲ取リタル
コトナキ旨当座ノ応答ヲナシアル処葡国副領事ハ葡国モ南
方政府ニ対シテハ澳門事件等重大ナル交渉問題ヲ控ヘ居ル
場合ニ付当分单独ニテ之ヲ問題トセザル方賢明ナリト考フ
ト語レル趣ナルガ本件ハ各国共同ノ問題ナル上ニ支那各地
略ボ同様ノ事情ナリト考ヘラルル節アルニ付近ク関税改正
ノ機會ニ於テ明確ナル明文ヲ設ケ将来ニ向ッテ本件弊害ヲ
防止スルコト必要カト思考致候

何レ本件詳細ハ追テ取調ノ上三月二十九日付通総機密合第

六八号貴信ニ対スル回答ト合セテ可及郵報候得共為念右不
取敢報告申進候

敬 具

本信寄送付先 北京、上海

一〇八 四月二十二日

在上海船津總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

上海関税會議ノ標準年度及基礎価格ニ関スル

中国案及我方対案ニ対スル英米仏中各国委員

ノ態度打診ノ件

関改第九号

(四月二十三日接受)

往電第七号ニ関シ

第一回會議開催前ヨリ帝國委員ニ於テハ予メ英米仏及支那
委員ト接觸ヲ保チ標準年度及基礎価格ニ関スル支那案ニ就
キテ彼等ノ意向ヲ確メ又我方案ノ趣旨ヲ説明シテ其賛同ヲ
慫慂シ居レルガ今日迄ノ經過左ノ通り

(一)支那提案ニ対シテハ各国共ニ主義ニ於テ之ヲ賛シ「ライ
アル」及蔡ハ極力其公平ニシテ便宜ナル所以ヲ説キ又税収
實際ノ高ニ拘ラズ「アブノーマル」ナル戦時價格ハ自ラ進
ンデ之ヲ基礎ヨリ除去セル次第ナリト語り暗ニ最近ノ期間
ヲ取りテ五分ヲ現実ナラシムル新例ヲ開クノ真意ヲ示シ

「フォックス」ハ「ピース、グッツ」ニ就テノミ指数方法ヲ
按出シ其他ニ就テハ全然支那案ニ依ルヲ利益トシ「ア一ノ
ルド」ハ嚴格ニ現実五分ヲ与フル限り支那案ニテモ可ナル

ベク尤モ日本其他各国事情ヲ異ニスル關係上何等力調整ノ
已ムヲ得ザルベキヲ認メ「ナイト」ハ最モ簡單ニシテ当業
者ノ利益トスル所ナリトシ各々其理由ヲ述ベタルガ結局主
トシテ(イ)千九百十七年及千九百十八年ニ於ケル物価不当ニ
高ク千九百二十年ノ第二四半期以来漸次低下シ其割合銀貨
下落ノ割合ト比較シテ小ナラザルコト(ロ)戦時欧米諸国ヨリ
ノ輸入極度ニ僅少ナリシコト(ハ)支那提案六ヶ月間ニ於ケル
重要欧米輸入品ノ市価ハ商況不振ノ為殆ド投売ノ已ムヲ得
ザルモノアリシ結果税関申告價格ニ比シテ遙ニ低廉トナリ
且過去数年ノ平均税関統計價格ヲ標準トスルヨリモ更ニ有
利ナリト信シ居ルコト(ニ)既ニ一般当業者ニ於テ支那案ニ異
議ナキ限り敢テ他ノ案ヲ考慮スル必要ヲ認メザルコト(ホ)今
後四年ノミヲ律スベキ税率ノ為ニ前改訂ト同様煩瑣ナル手
数ヲ繰返シ改訂ヲ遷延スルヲ欲セザルコト及(ヘ)支那ノ要求
ニ係リ而モ各国ニ取りテ有利ナル期間ヲ選ビ以テ從來現実
五分ヲ支那ニ与ヘザリシ「ブレーム」ヲ緩和スルヲ得策ト

認メシコト等ノ事情ニ基クモノノ如ク此等委員ハ尠クトモ
表面本邦ノ対案提出ニ就テ却テ奇異ノ感ヲ抱キ居レリ

(二)本邦ノ対案ニ就テハ当初前記委員ヨリ種々ノ反対アリ特
ニ「ライアル」ハ前回改訂ハ結果ニ於テ僅ニ三分内外ヲ支
那ニ与ヘタルニ過ギザル処斯ノ如キハ一ニ日本ノ提議竝英
米等ノ賛成ニ原因スルモノナルニ拘ラズ今次重ネテ日本ニ
於テ同様ノ「ロングス」ヲ為サントスルハ驚クニ堪ヘタリ等
激越ナル言辞ヲ弄シ「フォックス」亦尠ナカラズ我が態度
ノ公正ヲ疑フ口吻ヲ洩シタルガ帝國委員ヨリ英試案ノ欠点
ヲ指摘シ本邦案ノ公平妥当ナル所以ヲ縷述セルヤ漸次諒解
シ来リ結局「ライアル」ハ日本ノ対案ハ支那ニ取りテ却テ
原案ヨリモ有利ナル可ク且理論上最モ正当ノ提案ナルヲ
「アドミット」スルニ付支那側ノ考慮ヲ纏ムルニ尽力シ得
ベシ但各国委員ニ於テ之ニ同意スベキヤ危惧ノ念ニ堪ヘズ
ト語り「フォックス」又大体ニ於テ理論上公正ナルヲ認ム
ルニ付当業者ト共ニ研究スベシ但前記英國案ハ当業者決議
ノ結果ナルニ付此際日本案ニ同意スルハ彼等ノ喜バザル所
ナルベク之ガ緩和容易ナラザル可クト云ヒ(此ノ点「ライ
アル」モ特ニ恐レ居レリ支那案ノ採用ニ付テ「ライアル」

ヲ通シ英支間予メ充分ノ協議アリシハ推察ニ難カラズ) 從ツテ英國ノ修正案ハ之ヲ會議ニ提出スベク尤モ「ザブコンミッティ」ノ選任ヲ發議シ本件ヲ少數關係國間ニテ討議方然ルベシト述ベ又「ナイト」ハ寧ロ日本ガ物価低落ノ最近短期間ヲ避クル真意奈辺ニ在ルヤヲ諒解シ得ザルガ如キ口吻ヲ洩セルガ結局第一回會議迄ニハ英米仏ノ同意ヲ得ルニ至ラザリキ

事情前記ノ如クナルニ付我方針記載ノ第一案ハ到底各國委員ノ承認ヲ得ベクモアラズ却ツテ第二案ノ通過ニ支障ヲ来スベクト認メラレタルニ付殊更之ヲ捨テタル次第ニシテ又一部改訂云々ノ点ニ付テハ何國委員モ之ヲ予想スルモノナシ尙我方委員ハ引続キ各國委員説伏ニカメ又英國案ニ依ル利害研究中ナリ不取敢

北京へ転電セリ

一〇九 四月二十六日

在上海船津總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

上海関税會議ニ於ケル英國側ノ留保付中国案
実行方法ノ内容及日本ノ提案ニ対スル英國委員ノ見解報告ノ件

ノ各國比率ヲ考慮ニ入レズ) 「スタンダード、グッツ」全体ノ平均増加指数ヲ得是ヲ一律現行「ピース、グッツ」ノ税率ニ割増サントスルモノニシテ尙英委員ハ前記一九二一年ノ國別輸入數量税関統計ニ依リ明カナラザルモノニ付テハ一九二〇年ノ税関統計ヲ照按ノ材料トスベク又各品目ノ指数ニ就キ日本ノ独占的輸入品ニ就テハ日本申出ノ儘ニテ採用スルモ可ナルベシト述べ居レリ而シテ「フオックス」ガ我ニ与ヘタル英國品ノ調査ニ依レバ英國ガ「スタンダード、グッツ」トシテ摘出セントスルハ Grey shirtings 十四封度半、十二封度半、十封度、八封度四分ノ一、七封度 grey sheetings 十一封度 grey jeans 四十碼 white shirts shirtings 四十一碼 white irishes 四十一碼 white mexicans 四十碼 black italians 三十一碼 black venetians 三十碼ノ十二種ニシテ其本年三月ヲ以テ終ル六ヶ月平均ノ指数ハ夫々(小数点以下ヲ略シテ) 一七九、一八三、一五九、一六七、二二二、一六三、一五三、一六一、一六四、一三九、一七八、一五六ニシテ平均指数一六八・二一トナリ居レリ尙「フオックス」ハ我質問ニ対シ為替相場ノ将来ハ的確ニ予測シ得ベカラザルモノナルニ付一々当業者ノ「リスク」

関改第一〇号 (四月二十七日及二十八日接受)

貴電関改第六号ニ関シ

英國留保付支那案実行方法ニ付テハ既ニ詳細「フオックス」ニ聞キ糾シノ上目下我方ニ於テ指数ヲ基礎トシ本邦案及一九二一年ヲ採ル等ノ假想案トノ利害比較竝英支折衷案採用ノ場合我ヨリ修正提議ノ要否等折角研究中ニシテ現ニ大体ノ目安ヲ得タルニ付本日当地商業會議所ニモ附議ノ上近日何分ノ儀電報ノ答右調査ノ材料トシテ「アヴェーラブル」ナル一九二一年度主要五港ノ海関年報訳報及最近五ヶ年竝支那提案六ヶ月ニ於ケル上海價格表ハ既ニ郵送セリ英國留保案ノ実行方法ハ要スルニ「ピース、グッツ」ニ就テ各國委員ヨリ「スタンダード、グッツ」トシテ選定方希望ノ品目ヲ税番分類ノ如何ニ關係ナク適宜摘出シテ之ヲ各國委員ノ共同審議ニ附シ以テ標準貨物ノ品位ヲ決定ノ上其各品目ニ就キ各國委員ヨリ自國輸入品ニ関スル市価ノ指数ヲ申出デシメ是ガ正否ヲ審査シ更ニ一九二一年ノ各國該品輸入數量ニ照按シテ(其數量ノ多キ割合ニ応ジテ平均指数ヲ其國ノ提出セル指数ニ近寄ラシメ)一箇ノ平均指数ヲ考定シ次第是ヲ計算上平均シテ(此際ハ全体ノ數量又ハ價格

ニ委セ本件問題決定上特別ノ考慮ニ入ルコトナク上海市価ヲ基礎トスルニ依リテ満足スベシト答ヘタリ尙又支那側ニ於ケル準備ハ少ナクトモ同國委員ノ言明ニ依レバ未ダ殆ンド整備セズ例ヘバ上海市価ハ「ピース、グッツ」ニ対シテハ英國品ハ「オークシヨン」ノ價格週報ニ依リ日本品ハ日本商業會議所ノ發表スル所ニ依リテ求メ得ベク其他ノ品目ニ付テハ大体上海週刊英字新聞「チャイナ、エンド、フアー、イースト、ファイナンス、エンド、コンマース」ノ週報價格ヲ基礎トシテ計上シ得ベク尤モ先年來財政部ニ於テ上海ニ設置セル市価調査機關又未完了乍ラ参考ニ値スベシト述べ居ル程度ニシテ「アーノルド」ノ如キモ多ク調査シ居ラズ他ノ委員亦英國ヲ除キテハ同様ト見受ケラレ從ツテ支那提案ハ何等計數上同國ニ有利ナカルベシ從ツテ本邦案ニ付テ見ルニ(イ)其余リニ古キ年度ニ溯リテ標準トシ(ロ)且極メテ不確實ナリト思惟セラルル税関統計價格ヲ基礎トスルノ二点ニ於テ容易ニ各國委員ヲ首肯セシメ難ク彼等ハ(イ)ノ点ハ華府會議ノ結果新タニ嚴密ナル意味ニ於ケル現實五分ヲ与ヘンガ為旧慣ニ拘泥セズ今後ヲ律スベキ税率ノ算定上新生面ヲ開クベキ今次ノ改訂ニ於テ尙戰時ノ二年ヲモ採

用セシカ支那一般ノ期待ニ背キ列国不信ノ責ヲ免カレザルベク(四)ノ点ハ前回改訂ノ際充分各国委員ノ確認セル所ニシテ重ネテ其愚ヲ「レピート」スルヲ避クベク且ツ「カストムバリュウ」ヲ「ガイダンス」又ハ「ペーシス」トスルモ事實ニ於テ一々市価他ヲ参照シテ之ヲ「チェック」スル要アルベキニ付簡易公平ノ執レヨリ見ルモ支那案ニ一步ヲ輪スルモノト為シ居レリ加之一九二一年ノ税関統計ハ既ニ郵報ノ通り主ナル五港ニ付テ公表セラレ尤モ各輸入品ノ国別統計ハ未ダ公表セラレザルモ支那委員ノ談ニ依レバ是亦何時ニテモ各港海關ニ電命シテ容易ニ蒐集シ得ル由ニテ右ハ強チ懸引上ノ言葉トモ認メ難ク旁々我方ニ於テ飽ク迄御訓令ノ第二案ヲ主張スルニ於テハ結局一九二一年ヲ併セ加ヘ又更ニ一九一七年ヲ除外スル等ノ不利益ニ逢著スル虞アリ右ノ事情ナルニ依リ外国委員ヲ説伏スルコトハ我ニ於テ当分消極ノ態度ヲ取ルコトトセリ為念

在支公使ヘ暗号ノ儘郵送セリ

註 外務大臣四月二十四日発関改第六号ヲ省略セルガ右ハ最近六ヶ月間ノ本邦对中国重要輸出品ノ上海平均卸売市価ヲ調査報告スルコト並ニ英国留保案ニ依ル standard Goodsノ

種類及範圍ヲ開列シ報告スルコトヲ訓令セルモノナリ

一一〇 四月二十九日 在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

上海関税會議ニ於ケル中国提案ニ若干ノ条件ヲ附シ賛成シ可然ヤ請訓ノ件

関改第一二二号 至急 (四月二十九日接受)

往電関改第一〇号ニ関シ支那案ハ五分ヲ現実ナラシメ改訂手続ヲ簡易ニシ而モ少クトモ欧米諸国ニ採リテ最モ有利ナル方法トシテ各国委員ノ賛同ヲ博シ英国ノ留保又尤ト見做サレ居ル処英支折衷案ハ便宜ニ過ギズ(一)綿布ニ付キテ平均増率ヲナサントスル点ニ於テ各個商品及生産国ニ対スル負担ノ公正ヲ期シ難ク(二)今後二分五厘云々ノ附加税賦課ノ曉特ニ其程度甚ダシキヲ加フ可ク又(三)新税率決定上税関統計価格ノ如キ基準ヲ欠クタメ基礎価格ノ終局決定ニ付テ関係国ヲ甚ダ不安ノ立場ニ置キ(四)特ニ上海ノミノ市価ヲ基礎トスル結果滿州ニ於ケル我国特殊ノ貿易關係ヲ無視スル危険アリ且(五)英国修正ノ真意何処ニ在リヤ比較的騰貴率少キ本邦品ニ依リテ自国品ノ騰貴率ヲ緩和スルノ精神ナリヤ警戒ノ要アル等ノ事由ニ依リ容易ニ我ニ於テ賛同シ能ハザル所

ナルガ他面支那案ヲ公平ニ觀察スレバ係数上本邦对案ニ比シテ優ルモ劣ラザルハ既ニ往電第一三三号並其別電所報ノ通りニシテ且個々商品ノ税率決定ニ際シ閣下御訓令方針第四ノ趣旨ニ依リ特ニ過大ノ増率ヲ来ス虞アルモノニ対シ調整ヲ加フル上ニ於テ極メテ都合好キノミナラズ比較的ニ对支貿易ニ利害少ナキ諸国ガ容易ニ簡易ナル英支案ニ賛シ且一九二一年ノ統計不十分ナガラ公刊ヲ見之ヲ標準年度ヨリ除外スルノ口実ニ乏シキ今日本邦ニ於テ飽ク迄对案ヲ固執シテ支那ニ対スル誠意ヲ疑ハレ又會議遷延ノ責ヲ課セラルルガ如キハ或ハ之ヲ避クルヲ得策トスベク旁々適當ノ単位ヲ講ジテ前記英支案ノ欠点ヲ除去シ得ルニ於テハ我ニ於テ方針ヲ一變シ進ンデ支那案ニ賛同スルコト最賢明ノ方策トモ認メラル就テハ英国留保案ニ代ヘ左記ノ三条件ヲ附シテ此際支那原案ニ賛成方可然キヤ五月四日第二回會議開催本件問題討論ノ答ナルニ付右急速御詮議ノ上何分ノ議是非共四日會議ニ間ニ合フ様折返シ御回電相仰度シ

(一)「ピース、グッツ」ニ付テモ原則トシテ英国提議ノ指数ニ依ル平均割増方法ヲ用ヒズ各品目ニ付一律所定六ヶ月間ノ上海市価ヲ基礎トス但シ或地域ニ輸入セラルル特殊ノ商

品例ヘバ滿州ニ於ケル日本産粗製綿布ノ如キモノニ付テハ其地域内ノ主要開港場ニ於ケル当該商品ノ市価ヲ参酌シテ上海市価ニ正当ナル調整ヲ加フルコト
(二)何レノ税目ニ属スルヲ問ハズ商品ノ性質上市価ノ算定困難ナルカ又正確ナル市価ヲ発見シ能ハザル場合ハ英国留保案ノ指数方法ニ依リ同種ノ主要商品ニ付テ算出セル平均騰貴指数ニ依リ現行税率ヲ割増スルコト
(三)数量ハ一九二〇年ノ海關統計ヲ基準トスルコト

尚右条件附ニテ我方ヨリ原案賛成ノ場合結果ニ於テ果シテ可決ニ至ルベキヤ元ヨリ予断シ得ベカラザルモノアリト雖「シーズナブル、グッツ」ナル故ヲ以テ綿布ニ特例ヲ設ケントスル英国案ハ理由極メテ薄弱ニシテ之ニ反シ我条件第一ノ前半ハ原案ニ対スル右条件賛成ニ止マリ後半ハ公正ヲ目的トシ同第二ハ實際ノ便宜、同第三ハ正確ヲ期スルモノナルニ顧ミ共ニ当然ト言フベク結局我新案ハ簡易ト現実ヲ目的トスル原案ノ精神ヲ尊重シ更ニ公正的確ナラシメントスルモノナルニ付固ヨリ然シタル困難アルベシトハ思ハレズ然ルニ我四箇年採用ノ对案ニ至リテハ少クトモ形ニ於テ原案ヲ去ルコト遠ク併モ主義ニ於テ列国委員ヲシテ之ニ賛成

セシムルモ事案採用ニ当リテハ必ラズヤ一九二一年ノ追加乃至一九一七年ノ除去方提議ヲ見ルニ至ルベキハ往電関改第一〇号末段所報ノ通り予見ヲ難シトセザル所ニシテ斯ノ如キハ却ッテ自縄自縛ノ虞アル次第ナリ尙当委員ノ調査ニ依レバ一九二一年ノ税関統計価格ハ一般的ニ言フモ箇々ノ常用品ニ就テ見ルモ之ヲ本月二十二日附関公第三号ヲ以テ送付ノ税関統計ヨリ計算スルモ又税関部内ノ「インポート、バリュエーション、リスト」ニ依リテ見ルモ本邦案四箇年ノ税関価格ニ比シテ高価ニシテ其ノ低価ナルハ一部ノ高級綿製品、銅等ノ金属類、石炭、魚類、人參、窓硝子、皮、針、木材等ニ過ギズ

在支公使へ郵送セリ

一一一 四月二十九日

在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

上海関税會議ニ於ケル中国提案ハ係数上我方

対案ニ比シ不利益ナラザル旨報告ノ件

関改第一三三 至急

(四月二十九日接受)

往電第一〇号ニ関シ帝國委員ハ既ニ本邦品ニ付テ支那原案及英國留保附支那案ニ関スル係数上ノ利害比較研究ヲ終リ

価ニ付テ見レバ細糸ヲ除キテハ最近六ヶ月最安ク一九一八乃至二一年最高シ(細糸ニ付テハ最近割安ナル英國品又一六手以下ノ太糸ニ付テハ印度品ニ各々合算セラルル關係上増税率多少緩和セラルベシ)

(三)其他ノ重要品ニ付テ見ルニ最近六ヶ月ノ市価ニ依ルヲ有
利トスルハ銅、「コットン、バッグス」、干海鼠、石炭、窓硝子、紙、砂糖、材木ノ八種其不利ナルハ燐寸、昆布、絹綿繻子、椎茸ノ四種ニシテ洋傘、「セメント」ハ何レニ依ルモ大差ナシ尤モ右計算中絹綿繻子、「コットン、バッグス」、干海鼠、石炭、紙、昆布ノ六品ハ税番又ハ統計ノ内訳雑多ナルニ付別表記載ノ「パーセンテージ」ハ数量及品種ヲ適當塩梅シテ最妥当ト認メラルル程度ニ推算セル次第ニシテ尙閣下御訓令方針説明書附録二ノ(甲)ノ表ニ列記セル重要品中鉄道枕木、麦粉ハ從価又ハ無税品ニシテ「ウッド、パルプ」、蜜蠟、「パラフィン」、蠟、人造天然藍、毛織物、鉄類ハ我貿易ニ少ナク水産物及巻煙草ハ種類雑多ニシテ市価ヲ平均シ能ハザルニ付各々之ガ比較ヲ略セリ而シテ右数種品目中支那案ニ依ルヲ最利益トスルハ銅、石炭、紙、砂糖、材木ナリ(因ニ前記説明書附録二ノ(甲)ハ税関

タルガ其結果ハ別電甲本邦品ノ上海市価趨勢表、同乙綿布ニ関スル比較計算表、同丙綿糸ニ関スル計算表、同丁其他ノ重要輸入品ニ関スル計算表ノ通りニシテ要スルニ支那提案六ヶ月ノ上海市価ヲ基礎トスルハ我対案四ヶ年ノ税関統計価格ヲ採用スルニ比シテ毫モ不利益ナラズ(若シ一九一八ヨリ一九二二ニ至ル四ヶ年ノ「カストム、バリュエーション」ヲ採レバ更ニ不利益ニシテ一九二一年ノミノ「カストム、バリュエーション」又ハ市価ヲ採ルニ就テハ最モ不利益ナリ)即チ

(一)「ピース、グッツ」ニ付テハ本邦ヨリノ輸入最多キ各種生地綿布ハ最近六ヶ月ノ市価ニ依ル方我四ヶ年ノ統計額ニ依ルヨリモ低ク高級品ハ四ヶ年統計ニ依ル方低キモ其度大ナラズ尤モ英國品ト合算シテ多少増率ヲ見ルベキモ粗製高級兩種ヲ通觀スレバ結局最近六ヶ月ニ依ルモ我対案ニ依ルモ略同一ノ結果ヲ来スベシ

(二)綿糸ニ付テハ最近六ヶ月ノ市価ニ依レバ細手ヲ除キ全体ニテ約六割乃至九割ノ騰貴率ヲ示シ之ニ対スル我対案ノ税関価格ニ依ル騰貴率五割四分ニ過ギザル処綿糸ノ税関価格ノ信頼ス可カラザルハ既ニ前回改訂ノ際十分経験シタル所ナルニ付結局市価ニ依リテ算定セラルルニ至ル可ク而モ市

統計価格ヲ基礎トスルニ反シ別電諸表ハ現行税率基礎價格ヲ基礎トセルモノナルニ付右兩者ノ示ス價格騰貴ノ割合ハ同一ナルヲ得ザル筋合ノモノナリ為念)

尚英支本邦兩案ニ付日本人商業會議所ヲ通ジテ当地邦人當業者ノ意見ヲ質シタルトコロ一般ニ原案対案ノ何レニ依ルモ可ナリトナシ居レリ

在支公使へ郵送セリ

註 別電甲、乙、丙、丁(関改第一四号第一五号第一六号第一

七号)省略

一一二 五月五日

壇原外務次官ヨリ
神野大蔵次官「各宛
田中農商務次官」

中国関税改訂標準年度ニ関シ協議ノ件

通総機密合送第二五九号

本件ニ関シ上海関税改訂會議ハ客月二十日開催ノ第一回總會ニ於テ支那側委員ヨリ一九二一年十月乃至一九二二年三月ノ六ヶ月間ニ於ケル上海市場價格ヲ以テ改訂税率算出ノ基礎ト為スヘキ旨ヲ提議シ英國側委員ハ綿布ニ付テハ改訂ニ代ヘ十五種乃至二十種ノ標準品ノ当該六ヶ月間ニ於ケル上海市価ニ基キテ算定シタル平均増価率指数ニ依リ現行税

率ニ対シ割増ヲ為スコトヲ条件トシテ支那案ニ賛成シ各国委員亦右英支折衷案ニ賛成シタルニ付我方委員ハ客月八日附通総機密合第七五号公信ヲ以テ写及御送付置候我方訓令ノ趣旨ニ從ヒ一九一七年乃至二〇年ノ四ヶ年案ヲ提議シタル処右我方提案ハ會議ノ承認ヲ得ルコト到底困難ナル形勢ニ有之趣ニテ今般帝國委員ヨリハ一定ノ条件ヲ附シ前記支那側案ヲ承認スヘキヤ否ニ付別紙第一号ノ通請訓致シ越候仍テ右ニ関シ当省ニ開催ノ支那関稅準備委員會ニ於テ当省係官ヨリ貴省係官トモ篤ト協議ノ末決定シタル我方對案ニ基キ今般別紙第二号写ノ通在上海帝國委員ニ電訓致度候条右ニ関シ御異存ノ有無折返シ御回示相成度右別紙各一部宛相添此段得貴意候也

追テ本件ハ在上海帝國委員ヨリ來ル九日開催ノ委員會ニ間ニ合フ様七日迄ニ回訓方電請越ノ次第有之候ニ付急速処理ノ要アル儀ト御諒承相成度此段為念申添候

註 別紙第一号ハ在上海我方委員來電開改第一号乃至第一七号ナリ其内若干ハ前掲ノ通ナルガ若干ハ採録ヲ省略セリ
別紙第二号ハ委員宛電信案(本電別電全部)ナルガ本電ハ次ニ採録ノ五月六日外務大臣發船津總領事宛開改第十一号ナリ

ヲ幾分ニテモ緩和スルノ方針ニ出ツルコト寧ロ得策ナリト思考セラルルニ付政府ニ於テハ支那側提案ニ對シ左記ノ条件ヲ附シテ之ヲ承認スルコトニ決シタリ仍テ貴官ハ開改第一(註)一二号別電説明ノ趣旨ヲ参照セラレタル上右ノ方針ニ從ヒ我方目的ノ達成ニ努メラレタシ

(一)綿布ニ関スル英國側指數法留保案ニ對シ左ノ變更ヲ加ヘタル上之ヲ採用セシムルコト

(イ)綿布ノ外綿糸ヲモ加ヘタル全部ノ貨物ニ付一個ノ平均増加率指數ヲ求メ之ヲ綿糸布ノ全部ニ適用スルコト但シ已ムヲ得サル場合ニハ綿糸ヲ綿布ト切り離シ綿糸ニ對シテモ英國案指數法ヲ適用スルコトトシテ差支ナキコト

(ロ)「スタンダード、グッツ」ニ依ル平均指數ノ算定ニ際シテハ先ツ同品種ノ貨物ニ付其ノ各品目ノ輸入數量ニ比例シテ一個ノ平均指數ヲ算定シタル上右各品種ノ指數ヲ計算上又ハ場合ニ依リテハ各品種ノ輸入數量ニ按照シテ總平均指數ヲ算定スルコト

(二)新稅率算出ノ基礎タルヘキ上海價格ノ決定ニ際シテハ天津、大連、漢口及広東ノ市場價格竝必要アル場合ニハ其ノ他ノ支那開港場及輸出港價格ヲモ參酌シテ適宜之ヲ調整ス

一一三 五月六日 内田外務大臣ヨリ
在上海船津總領事宛(電報)

上海関稅會議ニ於ケル中国側提案ハ条件付承認スル方針ニテ努力方訓令ノ件

開改第一号 至急

貴電開改第一二号ニ関シ

支那案ニ依ルトキハ貴電前段(一)及(四)ノ如キ不利アルノ外支那案ト本邦案トノ利害關係ヲ比較スルニ必スシモ貴電開改第一三号ノ如ク支那案ヲ以テ有利ナリトハ為シ難キノミナラス仮ニ一九一八年乃至一九二一年ノ四ヶ年案ニ依ルモ支那案ヨリ有利ナルコト現ニ郵報ノ通ニ有之而シテ今後ニ於ケル物価カ今日ヨリ下落スルノ可能性アルニ拘ラス過去數年間ノ平均ニ比シテ比較的高キ最近六ヶ月間ノ平均價格ヲ基礎トシテ今後四年間實施セラルヘキ稅率ヲ算出スルハ支那ニ對シ將來現實五分以上ノ稅率ヲ与フル虞アルヲ以テ此点ヨリ見レハ本邦案又ハ一九一八—一九二一年案ノ方合理的ナリト思考セラルルモ會議ノ形勢ニ鑑ミ此ノ際支那側提案ヲ承認スルト同時ニ之ニ對シ英國對案ヲ參酌シテ適當ノ變更ヲ加ヘ以テ支那案採用ニ依リ我方ノ蒙ルヘキ不利益

ルコト

(三)輸入數量ハ千九百二十年ノ海關統計記載ノ支那輸入總額ヲ基準トスルコト但シ本項ニ付テハ支那側原案ニ依ルコトトスルモ差支ナキコト

(四)市価ノ算定困難ナルカ又ハ正確ナル市価ヲ發見シ能ハサル場合ニハ英國留保案ノ指數方法ニ依リ同種ノ主要商品ニ付テ算出セル平均増加率ニ依リ現行稅率ノ割増ヲ為スコト本電別電ト共ニ在支公使ヘ郵送アリタシ

註 別電開改第二二号及其別電開改第一三号乃至第一五号ヲ省

略ス
尚開改第一二号電信案欄外ニ(農藏兩省トハ内協議済)トノ記載アリ

一一四 五月十日 在上海船津總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

上海関稅會議第二回總會ニ於テ我方提案其他ヲ審議ノ狀況報告ノ件

別電 同日在上海船津總領事發内田外務大臣宛開改第二三号

英國留保案ニ對スル中国側ノ修正案ニ関スル件

開改第二二号 (五月十日及十一日接受)

昨九日第二回総会議開催全員出席先ヅ議長ヨリ標準年度及基礎価格ニ関スル英支日各案ニ付キテ意見ノ申出ヲ促シ且英国留保案ニ対スル支那側ノ修正案(別電関改第二三号)ノ趣旨ヲ読上ゲタルガ殆ド各国委員ノ注意ヲ惹カズ次デ帝國委員ハ貴電関改第一一号御訓令ノ趣旨ニ依リ先ヅ曩ニ提出セル本邦提案ノ撤回ヲ声明シ(其主義上極メテ公正妥当ナルヲ茲ニ確信スル旨附言シ置ケリ)同時ニ列國委員ト協調ヲ保ツノ精神等ニヨリ特ニ英国留保附支那案ノ採用ニ同意スベク尤モ該案ハ公平ニ觀察シテ増税負担上ノ不公平乃至不正確及上海以外ノ市場閑却等ノ欠点ヲ免レザルニ付之ガ「フール、アクセプタンス」ノ条件トシテ多少ノ修正ヲ提議スル必要アリト前置ノ上(一)指数方法ノ採用ニ当リテ「グループ」制ヲ採ルコト(二)綿糸ヲ綿布ト同一ニ取扱ヒ其一「グループ」トスルコト及(三)大連其他各港ノ市価ヲモ參酌スルコトノ三点ヲ叙述シ尚今後實際ノ計算ニ當リテ起ルベキ誤解ヲ避クルニ必要ナル故ヲ以テ数量ニ付テハ一九二〇及二一兩年ノ海関年報ヲ基準トスベク又市価算定ノ困難ナルモノニ付テハ指数方法ヲ準用スルコトシタキ旨ヲ夫夫理由ヲ附シテ申述べ(関改第二四号拙電御参照ヲ請フ)

ノミ)支那案ニ関シ「サブコムミッチー」ヲ設ケ該小委員会ヲシテ其決定ノ結果ヲ總委員會ニ報告セシムルコトト成リ日、英、米、白、和蘭及ヒ支那ノ六個國ノ委員(各々其希望ニ依ル)之ニ出席スルコト成レリ(該小委員會ノ期日ハ未定ナルモ一週間内ニ開カルル筈)右小委員會設置ノ動議ニ対シテハ我方修正案(一)及(二)以外ノ三点ニ関シテモ同時ニ附議方帝國委員ヨリ申出デタルモ右ハ討論上ノ便宜ニ顧ミ更ニ次回ニ讓ルベキ旨他委員ヨリ希望申出有リ而モ事實ニ於テ大体全会ノ諒解ヲ得タル次第ナルニ付暫ク之ヲ次ニ讓ルコトトセリ尚本會議中米國委員ハ支那委員ニ対シ上海市価調査方法ニ就キテ訊問の質問ヲ為シ從來輸入品ノ valuation ニ就テ種々ノ事情ニ基ク不公平有ル旨ヲ縷述シ又仏國ノ委員ハ綿糸布ニ就テハ殆ト利害關係ナシトテ不關焉ノ態度ヲ取レリ而シテ會議ノ空氣ハ英支各委員ニ対スル各國委員ノ反對態度更ニ熾烈ト成リ從ッテ右兩國委員ノ我方ニ対スル態度我對案撤回ト共ニ良好ヲ加ヘ米仏伊ノ委員亦我態度ニ好感ヲ有スルモノノ如シ

(別電)

在支公使ヘ転電セリ

タル処右ニ対シ英國委員ハ指数方法ニ関シ日本委員ノ指摘セル点ハ尤トシテ特ニ數量ヲ考慮ニ入ルルノ必要ハ當ニ之ヲ認ム又綿糸ヲ綿布ト一括処理スル点モ異議ナカルベシト述ベ「ライアル」ハ數量ニ關スル基礎ハ一九二〇又ハ二一年ノ何レカノ海関年報ニ依ルコトスベク兩者ヲ混用スルハ面白カラズト信ズ但シ一九二〇年ノミノ年報ヲ取ルコトニ就テモ別ニ異議ナシ又上海以外ノ市価參照方ニ就テハ日本ノ滿洲貿易ニ關スル特殊ノ事情ハ充分考慮ニ入ルヘキモ漢口、天津ニ於ケル市価ハ總テ上海ヨリモ高価ナルニ付之等ハ參酌ノ要ナカルベシ又上海ニ於テ對支輸入額ノ大部分ヲ占ムル貨物ニ就テハ上海ノ市価ノミヲ標準トシタシト述ブル所アリ然ルニ之ト前後シテ白耳義委員ハ英國留保案ニ強硬ナル反對論ヲ述ベ綿布及綿糸ノミニ付煩雜ナル指数方法ヲ認ムルハ不合理ニシテ全然支那原案ノ儘ヲ採用スベク然ラズンバ修正ニ次グニ修正ノ申出有リ會議ノ進捗セザルハ固ヨリ各國ヲシテ夫々自國ノ利益ノミニ重キヲ置カシメ延延テ支那ニ対シ不信ノ結果ヲ生ズベシト述べ和蘭、瑞典、丁抹各國委員亦之ニ賛成セルガ結局英支各國委員ノ動議ニ依リ先ヅ英國留保案並ニ日本修正案附(前頭)(二)ノ点

五月十日在上海船津總領事發内田外務大臣宛電報関改第二三号
英國留保案ニ対スル中国側ノ修正案ニ関スル件

関改第二三号(別電)

(五月十一日接受)

(一)支那委員ノ読上ゲタル指数方法ニ対スル修正案要領左ノ通

指数法ハ平均増加率ニ依リ一律増税セントスルモノナル結果 True Market Value ヲ無視スル次第ナルニ付尠ナクトモ主要輸入品ニ付課税価格ヲ決定スルニ當リテハ其部類ノ平均指数ト其各個主要品ノ市価トヲ相互ニ參酌シ即チ平均指数ニ依ルタメ課税価格余リニ高キニ過グルコト明カナルモノハ之ヲ市価ヲ照按シテ適當引下ゲ其低キハ又高ムルコトトス可ク之ガ為先ヅ成ル可ク多数ノ同一種類ノ貨物ヲ其部類ニ包含セシメ且税収額ヲ平均指数ニ依リテ予定シタル上其部類ニ屬スル各主要貨物ニ付其一定期間ニ於ケル輸入分量ヲ考慮シ又其市価ト平均指数トヲ彼此參酌シ一課税價格ヲ決定ス可ク而モ斯ノ如クニシテ各貨物ノ課税價格ニ調節ヲ加フルトモ其部類全体トシテハ既ニ予定セル税収額ヲ超過シ又ハ之ヨリモ減額スルコトナカラシム可シ云々

(二)右叙述ハ意味明瞭ヲ欠キ我ニ於テ了解シ難キニ付更ニ支

那委員ニ詳細聞札セルガ要スルニ右修正案ハ不用意ニ提出セルモノニシテ市価ヲ基礎トスル支那案ト指数方法ニ依ル英國案ト各貨物ノ輸入数量ヲ考慮セントスル本邦修正案トヲ折衷シタルニ過ギズ其方法トシテハ部類(例ヘバ綿糸布ト云フガ如キ広義ノ「グループ」ノ意味ナル由)ニ属スル各貨物ニ付其平均指数ニ依リテ税額ノ目安ヲ立テ其範圍内ニ於テ一部貨物ニ付必要ニ応ジ市価ト平均指数ニ依リテ計算セル金額トヲ彼此按排シテ其中間ノ金額ヲ終局ノ課税価格トシ以テ指数ニ依ル不当ノ増率又ハ低率ヲ調節セントスルモノノ由

(三)右修正案ハ如何ナル立場ヨリ會議ニ提出セルモノナリヤニ関シ會議ノ席上帝國委員ヨリ質問ヲ発シタルガ支那委員ハ右ニ対シ言ヲ曖昧ニシテ單ニ支那ノ原案ニ關係ナク指数方法ノ欠点ヲ矯正スル意味ニ過ギズト答ヘタリ為念
在支公使ヘ郵送ス

一一五 五月十日 在上海船津總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

上海関税會議ニ於テ我方ノ執ルベキ方針ニ関スル外務大臣訓令ニ対スル各國委員ノ態度報

リ

(二)「ライアル」ハ指数方法ニ付テハ各「グループ」平均指数ヲ更ニ平均スル場合ニハ單ニ数量上ノ算出法ニ抛ラズ各「グループ」ノ輸入数量ヲ参酌シテ決定セラルベキモノト信ズ尤綿糸ヲ一「グループ」トスル時ハ右ハ実行不可能トナルベシ綿糸ニ就テハ支那委員トシテハ何等異議無カルベシ蓋シ支那綿織物原料ニ関スル関税ヲ割安ニシ綿布ノ関税ヲ割高ナラシムルニ外ナラザレバナリ但シ英國委員ニ於テ賛同スベキヤラ虞ル市価算定ニ付テハ滿洲其ノ他特殊ノ事情ヲ充分ニ考慮スベシ

数量ニ関スル海関年報ハ一九二一年分ニテ足ルト信ズルモ是亦固執セザルベシ尤輸入金額ヨリ見レバ二十年ノ方少シク支那ニ不利ナルベシ其ノ他ニ付テハ何等異議無ク何レニスルモ日本修正案ハ皆極メテ公平適切ノモノト認ム云々ト語レリ「ライアル」以外ノ支那委員ハ唯我對案ノ撤回ヲ喜ブノミ

(三)「アーノルド」ハ我修正案ヲ全部尤トシ今後暫行課税モアルコト故十分公平ナル税率算定ノ要アルヲ語リ尚現行税率表ノ分類ヲ今少シク「サイエンテフィック」ニ改善スル

告ノ件

関改第二四号

(五月十一日接受)

往電関改第二二二号ニ関シ

之ヨリ先貴電関改第一一号乃至第一五号接到ト共ニ直チニ前回會議ノ景況ニモ鑑ミ一面英米及支那並他面仏、伊、白、和等ノ諸國委員ト更ニ充分ノ諒解ヲ進ムルヲ得策ト認メ之等各國委員ヲ往訪シテ我原案撤回及修正案提出ノ事情ヲ充分説明シタルガ之ニ対スル各國委員ノ態度大体左ノ通り而シテ各委員共ニ我對案撤回ヲ大イニ德トシ指数方法ニ関スル修正案以外ニ付テハ殆ド異議ヲ表明セザリキ

(一)英國委員ハ大体ニ於テ我修正案ヲ是認シ指数方法ニ付テハ計算ノ方法ヲ余リ煩雜ナラシメ簡易ノ趣旨ヲ没却スル嫌無キニ非ザルモ数量ヲ参酌スルハ尤ノ儀ナルニ付當業者ニ附議シテ充分考慮スベシ綿糸ヲ包含スルハ差支無カルベシ市価算定上輸出價格迄モ考慮ニ入ルルハ余リニ広汎ナルベク數量算定ノ海関年報年度ハ何レニシテモ可ナルベシ指数法ヲ他ニ準用ノ儀ハ差支無カルベキモ金屬類ニ於テモ適用サルベキヤラ虞ル何レニスルモ日本修正案ハ唯実行方法ニ付一ノ修正ニ過ギザレバ何トカ解決ノ途ヲ講ズベシト語レ

必要アリトシ今後我ニ於テ何等提案スベキヤ否ヤヲ尋ネタリ

(四)仏國委員ハ輸入數量ニ付テハ可成最近ノ年報ニ依リタジト述べ其余ハ之ヲ賛シ伊國委員亦何等反對セズ
(五)白國委員ハ英國ノ留保案及我綿糸一括案ヲ不合理ナリトテ極力攻撃シ右ハ既ニ「ライアル」ニモ申出タル所ナリトテ支那案ノ無條件賛成ヲ主張シ和蘭委員又同ジク而シテ同委員ハ寧ロ綿糸布ニ付テハ改訂税率ニ対シ支那政府ヲシテ五分ヲ限度トシテ市価實際ノ高下ニ応ジ何時ニテモ税額ヲ増減シ得セシムルコト最然ル可キ旨ヲ語レリ
前記各委員ノ所述ニ対シテハ我ヨリ適當反駁応酬シ其賛同ヲ求メ置ケリ事情前記ノ通ナルニ付輸出港ニ於ケル價格ノ参酌方ハ之ヲ會議ニ提出セズ市価算定ノ場合事實之ヲ引用スルコトトシ其余ノ点ニ付テハ今後交渉ノ上多少讓歩ノ余地ヲ存スルコト便宜ト認メ貴電御回訓ノ諸条件ハ此際凡テ之ヲ會議ニ申出ルコトトセリ

尚貴電関改第一一号前段一九一八年乃至二一年案ト支那提案六ヶ月案ト我ニ対スル利害比較ニ付テハ既ニ電報セル以外猶當委員調査ノ結果追テ電報スベシ

在支公使へ転電セリ

一一六 五月二十六日 在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛

中国関税改訂ニ付標準年度及基礎価格ニ関スル日中両案ノ利害比較ニ関スル件

関改機密第五号 (六月五日接受)

大正十一年五月二十六日

在上海

支那関税改訂委員

総領事 船津 辰一郎(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

往電関改第一二号乃至第一七号及第二四号末段ニ関シ当方委員ニ於テ当初ノ我四箇年統計案ガ會議ノ形勢ニ見テ一九二一年ヲ加フル四箇年統計案ニ變更セラルル場合ニ於テハ支那案ヲ採用スル方寧ロ有利ナリトセル理由ハ別添比較表ノ通りニシテ即チ六箇月市価及四箇年統計價格トヲ現行税率基礎價格(一〇〇トシ)ニ対比スレバ

品目	六ヶ月市価案 即チ支那案	自一九一七 至一九二〇 統計案	自一九一八 至一九二一 統計案
綿 布	一五〇・四	一六〇・四	一七五・二
綿 糸	一七四・〇	一五三・〇	一七三・〇
右両者平均	一五七・九	一五九・八	一七五・〇
其他重要品	一三二・四	一四〇・四	一四三・三
總 平均	一三六・六	一四八・四	一五六・一
トナリ一九一八―一九二一年四箇年統計案ハ總テノ場合ニ於テ六箇月市価案ヨリ不利ナルヲ免レザル計算トナリ之ニ輸出額ヲ照按シテ計算スルモ(綿糸布ノ場合ハ閣下御来示ノ調査数ニ依リ其他ハ一九二〇年ノ輸入額ヲ其儘採用セリ)			
品目	六ヶ月市価案	自一九一七 至一九二〇 統計案	自一九一八 至一九二一 統計案
綿 布	一四七・七	一五五・三	一七〇・〇
綿 糸	一八二・三	一五三・〇	一七三・〇
右両者平均	一五八・八	一五四・四	一七一・三
其他重要品	一一七・四	一五七・二	一五六・六
總 平均	一四一・四	一五五・六	一六五・二

一一七 五月三十日 在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

上海関税會議第三回總會ニ於テ綿糸布指数法ヲ決定並標準年度及基礎價格ニ関スル中国提出決議案ヲ審議ノ件

関改第三〇号 (五月三十一日接受)

往電関改第二九号ニ関シ

今三十日第三回總會會議開催全員出席蔡廷幹先ヅ綿糸布指数法小委員會議決ノ結果ヲ報告シテ全会ノ承諾ヲ得(決議ノ内容ハ已ニ電報ノ通)次イデ左ノ趣旨ノ決議案ヲ提出セリ所定六ヶ月ノ上海市価ヲ基礎トス但シ投票權無キ国ノ輸入数量ヲ除外ス總テ数量ニ付イテハ一九二〇年税関統計ヲ採ルベク又課税價格ハ市価ヨリ現行税率及七分ヲ減ジタルモノトス綿糸布ニ就イテハ所定ノ「ユニホーム、パーセンテード、ラブ、インクリリース」算出ノ方法ニ拠ルベク各品目ノ数量ハ之ヲ考量ニ入ルコトトシ尚右方法ニテ増率不当ナルコト明ナル場合ニハ詮議ノ上支那修正案ニ依リ「モデルアイ」スルコトアルベシ云々(原文ニハ It may, at the discretion of the committee appointed to consider the

右表ノ如ク何レモ甚シク不利トナル次第第二有之尤モ右ハ単ニ本邦重要輸出品ニ付テノミノ研究ニ過ギザル結果今後外國品ノ合算及市価ノ確定如何ニヨリテハ其間多少ノ差異ヲ免レザルベキモ尠クトモ日支各案ノ利害比較上貴方ノ御見解ト著シキ懸隔アル様思考セラレ候ニ付為念別紙相添此段報告申進候 敬具

追テ右計算ニヨレバ綿糸ノミニ就テハ支那案ニヨル方著シク不利益ノ觀アル処右ハ一九一七年ノ海関統計價格不當ニ安ク而モ一九一八年税率改訂以來之ガ訂正ニ急ナリシ結果(海関ノ Valuation List ニヨレバ綿糸ノ評価一九一七年ニ二十九兩余ナリシモノ一八年ニハ四十六兩余一九九年ニハ五十兩余二〇年ニハ五十八兩余ニ引上ゲラレタリ)ニシテ税率實際ノ算定ニ当リテハ到底海関統計ヲ信憑スル能ハズ市価ニヨリテ是正ノ外無キ關係上前計數ニヨリテ我原案ヲ有利ナリト認メ難カルベク右為念申添候

本信写送附先 在支公使

註 別添比較表ヲ省略ス

question, be modified in the following manner. トシ次ニ往電関改第二三三号ノ方法ヲ示セリ)

尚同時ニ支那委員ハ上海以外ノ市価参酌方ニ関シ其大部分ガ上海ニ輸入セラルルニ非ザルモノニ付テハ他港ノ市価ヲモ参酌スベク又輸出港ノ価格モ市価算定ノ實際ニ当リ便宜参酌スベキハ当然ナリトテ帝国委員ノ希望承諾ノ旨ヲ言明ノ上前記決議案ニ対スル全会ノ承認ヲ求メタリ

然ルニ英国委員ハ右ノ中現行税額及七分控除方ノ点ニ関シ支那案ニ依レバ現行税率平均三分五厘トシテ一割五厘ヲ差引ク計算トナル処陸揚後ノ諸掛其後次第ニ騰貴シ七分ニテハ僅少ナルニ付更ニ小委員会ヲシテ之ガ適當ナル「パーセンテージ」ヲ発見決議セシムルコトトシ度シ尤モ其場合ハ税額共ニテ一割二分ヲ越エズシテ可ナリト述べ極力反対ノ意ヲ示シ米、白両委員之ヲ賛シ帝国委員亦一般的ニ該歩合ヲ決定スル条件ノ下ニ英国案ニ賛成ノ旨ヲ述べタル結果不取敢支那委員ニ於テ控除歩合ニ関スル点ヲ決議案ヨリ削除シ之ヲ次回ノ討議ニ(六月二日開催)讓ルコトトナリ爾余ノ点ハ全会一致可決セリ右ニ次イデ支那委員ヨリ
reclassification and valuation (不明) トナレリ委細郵報

ヨリ四ヶ月以内ニ本件修訂ヲ完了スルコトトナリ居リ現ニ原定期限ヲ逾エタルモ未タ完了スルニ至ラサルヲ以テ積極進行方日本代表委員ニ電知アリ度旨七月一日附ヲ以テ外交総長ヨリ照会致越候条委曲紙公文写ニテ御査閱相成度尚本件来照ハ同文ヲ以テ関係国公使へ申来候モノト被認候此段申進候也

本信写送附先 上海

(附屬書)

七月一日附額外交総長ヨリ小幡公使宛公文定字第二六六号写

関税改訂会議ノ議事促進方ノ件

照会定字第一六六号

外交総長 顔

為

照会事此次修改通商進口税則業經

各関係国政府委派代表会同中国政府所派委員在滬組設委員會從事修改並經於本年三月三十一日開成立会在案按照華府会説於本年二月六日所訂關於中国関税税則之条約第一条附件内載此項修正之進行応愈速愈妙俾得自限制軍備及太平洋遠東問題會議採用本議決案之日起四個月以内修正完竣等語現已逾原定期限該新税則尚未修正完竣自應積極進行以符原

北京へ転電セリ

註 五月二十五日船津總領事発関改第二九号ヲ省略セリ右ハ二十五日綿糸布小委員会ニ於テ綿糸布共通指数法適用方ニ付日英中国ノ内協議会決定ノ通可決セルコトヲ報告セルモノナリ尚右内協議会ニ付イテハ五月二十三日船津總領事発関改第二六号ヲ以テ報告アリタルガ該電ヲ省略セリ

一一八 七月四日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

上海関税改訂会議ノ議事促進方ニ関シ中国側

ヨリ申越ノ件

附屬書 七月一日附額外交総長ヨリ小幡公使宛公文定字第一六六号写
関税改訂会議ノ議事促進方ノ件

機密第二八三三三

(七月十二日接受)

大正十一年七月四日

在支那

特命全權公使 小幡 西吉(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

関税改訂委員會ハ本年三月三十一日上海ニ於テ成立ヲ見タル処華府會議ニ於テ本年二月六日所訂ノ中国関税税則ノ条約第一条附件ニ依レハ軍備制限及太平洋遠東問題議決ノ日

約除電令本国主任委員遵照迅速辦竣勿再稽延外相応照会

貴公使査照希電知

貴国代表一律遵照迅速辦理並見復為荷須至照会者

右 照 会

大日本国欽命駐華全權公使小幡

中華民國十一年七月一日

(右和訳文)

(註 外務本省係官作成ノ仮訳文ナリ)

照会定字第一六六号

関税改訂会議促進方ニ関スル件

以書翰致啓上候陳者今回ノ支那輸入税則改訂ニ関シテハ曩ニ各関係国政府派遣ノ代表委員ハ支那政府派遣委員ト会同シテ上海ニ委員会ヲ組織シ本年三月三十一日開会引続キ改訂ニ從事シ居ル次第ニ有之候処華府會議ニ於テ本年二月六日調印シタル支那ノ関税ニ関スル条約第一条附則ニ依レハ本改訂ハ成ルヘク速ニ進捗ヲ図リ軍備制限及太平洋遠東問題會議ニ於テ本件決議案採用ノ日ヨリ四月以内ニ改訂ヲ完了スル規定有之目下已ニ原定ノ期限ヲ超エタルモ新税則ノ改訂猶未タ完了セサル儀ニ付此際之カ積極的進行ヲ計リ以テ原条約ノ規定ニ適スルコト致度本邦主任委員ニ対シテ

ハ既ニ右ノ趣旨ニ從ヒ迅速完了シ再遅延スルコトナキ様電訓致置候間貴公使ニ於テモ右御了承ノ上貴国代表委員ニ右同様迅速辦理方御電知ノ上右ニ関シ何分ノ儀御回答相願度本大臣ハ玆ニ重ネテ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

中華民國十一年七月一日

一一九 七月八日 在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛

関税会議遅延ノ原因ハ各品目ニ関スル中国側調査ノ不備ニアル旨申報ノ件

関改機密第九号 (七月十七日接受)

大正十一年七月八日

在上海

支那関税改訂會議委員

総領事 船津 辰一郎(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

関税改訂會議促進方ニ関スル件

本月四日附機密第二八三号ヲ以テ在支小幡公使ヨリ閣下宛稟申相成タル本件ニ関シ支那政府ヨリノ照会ハ多分先般当地漢字新聞ニ掲載セラレタル各国委員ノ休暇及日本委員一

旦帰国等ノ記事ニ基キ会務向後ノ遅延ヲ虞レタル結果ト被致思料候処右ハ全然無根ノ報道ナルノミナラズ曩ニ七月三日附関公第十七号拙信ニ依リ既ニ御閱悉ノ通當時直チニ帝國委員ヨリ蔡廷幹及委員書記ニ対シ其ノ何等帰国ノ意ナク専心遲滞ナク会務ヲ進捗終結セシメンコトヲ希望シ居ル旨ヲ説明ノ上訂正取計方ヲ求メ彼ニ於テモ之ヲ了得約諾セル次第ニ有之候將又今次改訂會議ニ於テ帝國委員ハ申ス迄モナキ事ナガラ各国委員ト共ニ銳意会務ノ進捗ヲ図リ支那側指定ノ期日ニ於テ会合ヲ怠ラズ又勉メテ原案ノ趣旨ニ適合シ無益ノ論議ヲ避クル方針ヲ執リ居ル儀ニシテ尤モ各箇品目ノ市価及税率ノ算定並税目分類ノ改正ニ当リ帝國委員ヨリ種々論議ヲ稱ヘテ再考ヲ促ス場合ナキニ非ズト雖モ右ハ固ヨリ当然ノ事理ニ属シ却テ支那側調査ノ不正確乃至不充分ヲ証明スルモノト云フベク現ニ帝國委員ノ外各国委員ニ於テモ亦均シク多数品目ニ就キ議決ヲ肯ゼザルモノアル次第ニ有之結局忌憚ナク云ヘバ會議ノ進行捗々シカラザルハ一ニ支那側ニ於ケル標準価格ヲ決定スベキ市価ノ調査難竝ニ之ニ伴フ支那側調査ノ不充分且不当ニ高率ナルニ職由スルモノニシテ而モ此ノ如キ調査難ハ曩ニ本邦側ニ於テモ

税関統計價格ヲ税率算定ノ標準トシテ提議セル際予測セル所ニシテ既ニ支那原案採決ニ至リシ今日之ニ基ク期間延長ノ責ヲ列国委員特ニ勤クトモ本邦委員ニ嫁セントスルガ如キハ甚ダ謂レナキ筋合ト被認候

右北京政府ヘノ御応酬上何等カノ御参考迄ニ為念報告申進候 敬具

本信写並七月三日附関公第十七号拙信送付先 在支小幡公使

一一〇 七月十八日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛

関税會議促進方中国側申出ニ対スル回答振ニ

付訓令ノ件

通総機密送第一四五号

本件ニ関シ支那側ヨリ申出ノ次第ニ付七月四日附機密第二八三号貴信ヲ以テ御報告ノ趣了承致候然ルニ今回ノ改訂ニ際シ我方トシテハ華府會議決定ノ精神ニ鑑ミ成ル可ク速ニ會議ノ終了セムコトヲ希望シ本邦委員ニ対スル訓令書ニ於テモ右ノ趣旨ヲ説明シ居リ同委員ニ於テモ当初ヨリ特ニ此点ニ関シテハ十分留意シ現ニ暑中休暇ヲ廢シテ会務ニ軌掌

シ居ル次第ナルニ拘ラス今回ノ改訂ニ於テハ税率表品目ノ大部分ニ付市価ニ基キテ困難ナル課税價格ノ算定ヲ行フノ外税目分類ノ変更等ニ付テモ各国ヨリ相当提議アリ現ニ支那側委員ニ於テモ十分努力シ居ルニ拘ラス煩雜ナル市価調査未了ノ故ヲ以テ小委員會ノ開催延期方ヲ申出タルコト数回ニ及ヒタル事情モ有之旁々之カ完了ニハ相当ノ日子ヲ要スル次第ニテ右ハ其ノ事業ノ性質上已ムヲ得サル次第ナル処過日来新聞紙上ニ於テ本邦委員ハ暑中休暇ノ為帰朝スル旨ノ誤報ヲ伝フルモノモ有之カ為支那側ニ対シ我方ニ於テ故意ニ會議ノ進捗ヲ妨クルカ如キ印象ヲ与フルノ虞モ可有之被存候ニ付不取敢本邦委員ニ対シテハ此上トモ會議ノ迅速進捗方ニ付配慮スヘキ旨電訓致置候間貴官ハ適宜右ノ趣支那側ヘ回答スルト共ニ尚必要アラハ前記ノ事情篤ト御説明ノ上我方ノ立場ヲ十分了解セシムル様被致度此段申進候也

本信写送付先 上海

一二一 九月一日 在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

綿糸布ノ新関税率ニ付中国原案ヲ承認シ出来

得レバ若干修正ヲ試ムルコトトシ度キ旨稟請

ノ件

関改第七八号(至急)

(九月二日接受)

貴電関改第二九号ニ関シ

(一)支那側ガ委員会ニ於テ直チニ綿糸布ノ指数計算ニ入ラントセルハ我方ト多少見解ヲ異ニシ支那側ハ曩ニ總會ノ議ヲ經タル回章(†)ハ指数計算ノ方針ヲ示セルモノナリトシ爾來此方針ニ基キ各国ト協調ヲ保チ其準備ヲ進メ来リタルガ其ノ間何等支障ナカリシモノナレバ最早委員会ニ於テハ単ニ「マイナー、ディテイル」ヲ討議スルニ過ギズシテ寧ロ具體的提案ニ依リ討議スルヲ以テ捷徑ナリトナシ且委員會ノ研究ガ其ノ計算ノ結果ヲ示シテ内容ニ於ケル利害ヲ知ラシムルヲ便利ナリトセルモノニシテ新聞等ガ本會議ノ遷延ニ論評ヲ与フルアリ小委員会モ終末ニ近ヅキタル折柄形式ヲ避ケテ直チニ計算ノ実質ニ入ラントセル外他意ナキモノト認メラレ已ニ我方ノ希望ニ依リ一々順序ヲ追ヒテ決議ヲ行フコトトナレル次第ナルガ英米委員ノ如キハ支那ノ提案ヲ以テ可ナリトシ我方ガ形式的討論ヲ要求セル理由ヲ解セズ支那提案ニ依リ是非ヲ議スル方却ッテ便宜ナリトスルモノ

ノ如ク選定セラレ總テ夫々關係各国ガ承認セルモノナレバ打算的ニ削除又ハ修正ヲ試ムルコトハ今更不可能トナレル形勢ナルノミナラズ支那側ノ口吻ニ依レバ我方ノ市価ガ低キニ過グトノ非難ヲナスモノアリトコトナレバ我方ヨリ彼是之ニ異議ヲ挟ムニ於テハ或ハ議論百出シ遂ニ收拾ス可カラザルコトト成ルヤモ計リ難シト察セラレ最モ影響多キ英國品ノ價格モ「ワークション、プライス」調査ノ結果異様ニ高マリ居ルモノナレバ是亦如何トモスルコト能ハザル可ク畢竟標準品ノ選択ハ關係各国ガ歩調ヲ共ニシテ行フニアラザル限り相互ニ他国品ニ対シ理論的主張ヲ離レ打算的立場ヨリ修正ヲ加フルコトハ出来難ク且又根本的修正ヲ為スニ非ザレバ其結果ヲ左右スルコトハ成ラズト信ゼラル故ニ大勢既ニ定マリ居ルヲ以テ結局原案ヲ承認スル外無カル可シ

(四)支那側計算ニ於テハ必ズシモ独リ支那側ノ利益而已ニ依リ立案セルモノトハ認メ難ク支那側ノ説明ハ既定ノ方針ニ立脚セルモノト信ズルニ足り英米ハ既ニ全然賛意ヲ表シ居リ当方ニ於テハ申ス迄モ無ク研究ノ結果大体ノ見込ハ附ケ居リシモ材料不揃ヒノ為終局ノ正確ナル数字ヲ知り難カリ

ノ如シ

(二)分類方ニ付詳細御来示アリタルモ当方ノ研究ニ依リ同一数量ヲ以テ計算スル場合ニ於テハ分類ノ相違ハ其ノ結果何等ノ影響ナシトノ数理的結論ヲ得タルガ故ニ已ニ我方ノ主張ニ依リ總テ数量ヲ計算ニ加フルコトナリタルヲ以テ分類案ニ付テハ其ノ点ニ於テ承認セル次第ナリ尚計算上曩ニハ五港ノ数量ヲ取り後ニハ全国ノ数量ヲ取ルガ如キ場合ニ於テモ分類關係ノ影響ハ極メテ輕微ナルノミナラズ結果ノ利害ハ予メ知り難シ分類ニ関シ御来示ノ理由ニハ何等カノ思ヒ違アルニ非ズヤト思考セラル為念

(三)標準品及其ノ價格ニ付テハ我方ノ予期ニ反シ支那側ノ予定表(六月三日附関公第十号附屬物第一三号ノ品目表)ニ基キ各国ト各別ニ協定ヲ遂ゲタルモノヲ直チニ採用セントスルモノナル処(我方ヨリ支那側へ提出セル八月八日附関改機密第二八号附屬表モ支那側ノ調査材料ノ意味ニ外ナラザリシハ御承知ノ通)支那側ハ当初ヨリ標準品ハ公平ヲ期スル上ニ於テ重ナル輸入品ニ付成ルベク多数ヲ採用シタキ希望ヲ有シ(支那回章(†)第一頁参照)敢テ之ニ反対スルモノナク從ヒテ其ノ意義ハ広汎トナレル傾アリ結局別電(甲)

シガ從來ノ研究竝八月三十一日ヲ以テ出揃ヘル支那側計算書ニ付比較調査セル結果ハ別電(乙)ノ通ニテ支那側ノ計算ニ対シ各種ノ理想ヲ以テ改訂ヲ加フルモ我方ニ有利ナル案ヲ發見シ難ク結局支那側第一案ニ対シ我方ヨリ論難ヲ加ヘタル結果「ライアル」ニ於テ作製セル第二案即チ五割八分一二ノ増加率案ガ最モ利益且主義一貫セルモノト認メラル尚本案ヲ基礎トシ(不明)斯ル不条理ナル打算的主張ヲ為スニ於テハ却ッテヨリ以上ノ高率案ノ採用ヲ余儀ナクセラルル羽目ニ陥ル可キ虞アルニ付六割以内五割八分内外ニ決定セラル可キ大勢ニ鑑ミ支那側五割八分案ノ計算ノ方ニ同意シ出来得レバ其内容ニ付多少ノ有利ナル修正ヲ試ムル方針ヲ以テ進行スルコト此際ニ処スル最善ノ手段ト思考ス(四)支那側交付ノ計算書ハ大部ノモノナレバ全部電報シ難キニ付直チニ郵送ス尤モ此際御研究ヲ遂ゲラルルニハ相当ノ日子ヲ要シ小委員会既ニ終了ヲ告ゲントスルニ際シ研究未済ノ故ヲ以テ會議ヲ延期セシムルハ外部ノ非難モ起リ居ル折柄必ズヤ會議遅延ノ責メヲ転嫁セラレ我方独リ責任ヲ負フコトト成ル可シ就テハ從來ノ經過及會議ノ形勢篤ト御諒察ノ上若シ帝國政府ニ於テ支那側提議ノ計算方ニ根本的修

正ヲ為ス御方針ニ非ザル限り相成ル可クハ會議ヲ遅延セシムルコトナク当委員ニ於テ前陳ノ方針ニテ進行方御承認相成ル様致シ度ク尚至急何分ノ御回電ヲ請フ尚小委員会ニ於テハ出揃ヒタル材料ニ依リ更ニ研究中ナリ
在支公使へ転電セリ

註一 外務大臣八月三十日発関改第二九号及関改第七八号ニ対スル外務大臣ノ回答（九月六日発関改第三〇号）省略
2 別電（甲）及（乙）省略

一二二 九月十五日 在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

從価関税ノ算出方法ニ関スル米英提出ノ各案
ノ内米案ヲ支持スル方有利ナル旨稟申ノ件

関改第九三号 （九月十六日接受）

関改第九〇号拙電ニ関シ米案ハ卸売市価ヲ課税ノ基礎トスルモノニシテ現行規定ノ主義ニ準拠シ其不備ナル点ヲ補充スルノ外特種ノ商品ニ対シテハ輸入後ニ要スル据付費用運送費工費材料費等ヲ課税価格ヨリ除外スルコト及税関ノ決定ニ不服アル場合ニハ税関決定ノ税額ヲ支払ヒ貨物引取ノ便法ヲ設ケントスルニアリ之ニ反シ英案ハC・I・F價格

北京へ郵送セリ

註 船津総領事九月十四日発関改第九〇号及其別電関改第九一
号関改第九二号ヲ省略セリ右ハ附屬規程第一条ノ改正案ニシテ從価関税算出方法ニ関スル米国家案及英国家案ヲ報告セルモノナリ

一二三 九月十八日 在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

中国関税条約ニ対シ締約国全部ノ批准寄託ヲ了セザル今日ニ於ケル新関税率ノ実施方法ニ
関シ各委員ノ意圖問合ノ件

関改第九七号 （九月十九日接受）

関改第三二号及関改第三四号貴電ニ関シ
英、米、伊及支那委員ノ意見ヲ質シタルニ各国共支那関税条約第十条ノ規定ヲ注意シ居ラザルヲ發見セリ「フオックス」ニ対シ右ノ規定ヲ指摘シタルニ同条約が各国ノ批准寄託ヲ必要トスルコトニ始メテ氣附キ英國總領事「バートン」ト打合セタル結果批准寄託並新税率ノ実施期日等ニ就テハ全ク本國政府ノ裁量ニ一任スルコトトシ当地ニテハ関税委員トシテノ任務ヲ遂行スルニ止マリ新税率ノ印刷出来上リ次第之ヲ北京公使ニ郵送シ本國政府ノ承認ニ関シテハ

ヲ課税ノ基礎トスルコトニ改メ税関ハ右價格ヲ証明スベキ書類ノ提出ヲ命ジ若シ不滿ナルトキハ更ニ宣誓書ノ提出ヲ要求スルコトトシ是等書類ノ提出ナキ場合其他例外ノ場合ニ限り卸売價格ニ拠ラントスルモノナリ

日本商業會議所ハ英國商業會議所ヨリノ照会ニ対シ英案ハ理論上差支ナキモ支那税関ガ日本文ノ諸書類ヲ完全ナル証書書類トシテ認メザル現状ニ於テハ本邦輸入品ニ対シ却ツテ紛議ヲ多クスルノ虞アルニ付賛成シ兼ヌル旨回答ノ答ナリ当委員ノ見解ニ依レバ英案ハ理論上尤ナルガ如キモ本邦品ガ完全ナル諸書類ヲ添附スルコト稀ナル現状ト税関ガ日本文書類ハ勿論英文ニテ作成セ（脱）ヲモ其儘認メザル実状ニ鑑ミ英案ノ通過ハ本邦品ニ何等ノ利益ヲ齎サズ從來ヨリモ面倒ヲ惹起スルノミナラズ日本及外国ヨリ輸入スル同一商品又ハ競争品ニ在リテハ課税上我ニ不利ナル差別的取扱ヲ受クルニ至ル虞アリ之ニ反シ米案ハ現行規定ヲ改善セントスルモノニシテ本邦當業者モ多少ノ便宜ヲ受クルニ至ルコト明瞭ナレバ米案ヲ援助スル方得策ナリト思考ス右英米案ニ対シ當委員ノ執ルベキ態度ニ付何分ノ御訓令相成様致シ度シ

同公使ヨリ電訓ヲ請フ管ナリト回答セリ「アーノルド」ハ支那ノ「ブレファトリー、ノート」ニ関シ本國政府ニ請訓中ナルガ私見トシテハ前回改訂ノ際上院ノ通過ヲ条件トシテ実施期日ニ関シ承認ヲ与ヘタル前例アレバ批准サヘ終ラバ批准寄託ニ就テハ本國政府ハ余リ故障ヲ云ハザルベシト思考スル旨ヲ述ベタリ蔡廷幹ハ関税条約締結ノ精神ニ鑑ミ批准サヘ終ラバ各国ハ面倒ヲ云ハザルベシト考ヘ「ブレファトリー、ノート」ノ案ヲ回章ニ附シタル次第ニシテ各国批准支障ノ程度ニ就テハ何等調査シ居ラザル旨ヲ答ヘ又伊太利委員ハ英國ト同感ニテ当地委員ノ決定シタル税率ニ対シ本國政府ノ承認ヲ請フ管ナリト答ヘタリ尚「ナイト」ハ北京ニ赴キ不在中ニテ仏國ノ意圖ヲ聞クヲ得ズ其他ノ委員ノ意圖ハ引續キ探訪ノ上追テ電報スベシ
在支公使へ転電セリ

註一 九月十三日外務大臣発関改第三二号省略セルガ右ハ華府會議中国関税条約ガ未ダ締約国全部ノ批准寄託ヲ終ラザル今日新関税率ノ実施ノ方法ニ関シ各委員ノ意圖確メ方ヲ訓令セルモノナリ

2 九月十六日外務大臣発関改第三四号ヲ省略セルガ右ハ新関税率ノ發表及其實施期日ニ関スル中国委員ノ提案ニ付

各国委員ノ意見ヲ確ムベキコトヲ訓令セルモノナリ

一二四 九月二十六日

塩原外務次官ヨリ
大蔵農商務両次官各宛

中国税関取扱振改善方ニ関スル訓令一部変更

二 付通報ノ件

附屬書一

九月二十日着在上海船津総領事宛内田外務大臣宛電報

海関ノ諮詢機關タル常設國際委員會設置ノ我提案ニ関スル各國委員ノ意向報告ノ件

二

九月二十二日着在上海船津総領事宛内田外務大臣宛電報

我國國際委員會案ヲ見合セ寧ロ審議改案スルコトニ付請訓ノ件

三

九月二十三日内田外務大臣宛在上海船津総領事宛電報(甲)

我提案成立見込無キニ依リ原案ヲ修正、總會ニ提出スベキ旨訓令ノ件

同日内田外務大臣宛在上海船津総領事宛電報(乙)

右(甲)案ヲ提出スルモ通過見込無キ場合ノ措置振訓令ノ件

(註)

本件我方訓令ニ関シテハ八月十九日附通総機密合第五九九号ヲ以テ得貴意置候処其後在上海帝國委員ヨリ別紙第一号

写ノ通本件經過ニ関シ報告有之引續キ去ル二十二日別紙第二号写ノ通請訓シ来リ候ニ付翌二十三日当省ニ開催ノ支那関税改訂準備委員會ニ於テ当省係官ヨリ貴省係官トモ篤ト協議ノ上右ニ対スル我方ノ態度ヲ決定シ特ニ本件ハ至急回訓ヲ要スル次第ニテ予メ御協議ノ余裕モ無之ヲ以テ右委員會ノ決定ニ基キ別紙第三号写ノ通帝國委員宛回訓致置候条右様御承知相成度別紙写各一部宛相添此段得貴意候也

註 八月十九日附通総機密合第五九九号省略セリ

(附屬書一)

別紙第一号

九月二十日本省着船津総領事宛内田外務大臣宛電報

海関ノ諮詢機關タル常設國際委員會設置ノ我提案ニ関スル各國委員ノ意向報告ノ件

英國委員ノ意向

我方提案中了解シ難キ点ニ付質問シタル後主義ニ於テハ異存ナキモ國際委員會ノ組織ハ現行仲裁委員會ニ比シ余リニ大袈裟ナル様思ハルルノミナラズ多少税関行政ニ干涉スルノ嫌ナキヤニ思考セラレ從ツテ支那側ノ承諾ヲ得ルコト容易ナラザル可ク結局實現不可能ナラズヤト述ベタリ之ニ対シテハ夫々我方ノ立場ヲ説明シ置ケリ

支那委員ノ意向

「ライアル」目下旅行中ニ付我案ニ対スル支那側ノ纏リタル意見ヲ聞クヲ得ズ但蔡廷幹ハ大体我案ニ反対ナラザレドモ國際委員會ノ構成ガ尤大ナルコト及通貨ト海関両トノ公定割合ノ決定ハ前回改訂當時ノ例ニ見ルモ甚ダ困難ナル問題ナルベシト述ベ又施委員モ私見トシテハ我案ニ賛成ナルモ委員會ノ組織ガ余リ大ナルコトヲ指摘セリ然シ兩人共ニ未ダ我案ヲ充分研究シ居ラザルモノノ如ク見受ケラレ且支那側ノ意見ハ「ライアル」帰来ノ上ニ非ザレバ決定セザル旨ヲ述ベタリ

米國委員ノ意向

米國委員、我方提案タル國際委員會ハ其ノ組織大規模ニシテ必要ナル智識無キモノヲモ網羅シ且領事ハ屢々更迭スルコトアルベキヲ以テ到底満足ナル結果ヲ見ルコト能ハザルベシ又同委員會ハ単ニ諮詢機關ナリトスルモ事實上税関吏ヲ圧迫シテ其ノ権限ヲ侵スノ嫌アリ第一ノ(一)委員全体ノ會議ヲシテ課税価格ヲ決定セシムレバ税率改訂會議ノ如キ面倒アルベク(二)意見ヲ異ニスル場合毎ニ委員全体ノ會議ヲ開クコトハ大袈裟ナルノミナラズ殆ド実行不可能ノ事ニ属

ス(四)ノ紛議起リタル場合ニハ斯ル會議ヲ開カズシテ關係國委員ノミヲシテ解決セシムルハ事ノ本末ヲ顛倒セル感アリ(六)ニ付テハ國ニ依リテハ領事館ニ供託スルコト規定上不可能ノモノアルベキヲ以テ寧ロ税関ニ供託スルコトトスル方可ナルベク第四ノ(一)ノ言語ハ単ニ商品ヲ説明スル文字位ニ限定スル方然ルベシト述ベタリ

(附屬書二)

別紙第二号

九月二十二日本省着船津総領事宛内田外務大臣宛電報

我國國際委員會案ヲ見合セ寧ロ審議改案スルコトニ付請訓ノ件

請訓電報

伊太利委員ハ我提案ノ國際委員會ニ関シ税関事務ニ干涉シ之ヲ國際管理化スルノ感アルノミナラズ斯カル機關ヲ設置サル時ハ之ニ対シ瑣々タル苦情ヲモ訴フルコトナリテ其ノ煩ニ堪ヘザルベク從ツテ支那側モ容易ニ同意セザルベシ又和蘭委員モ自分トシテハ從來何等ノ苦情ナキニ鑑ミ別ニ新機關ヲ設クルノ必要ヲ認メズ又若シ税関ハ該委員會ニ諮詢スルコト及其ノ意見ノ採否ニ関シ何等拘束ヲ受ケザルモノトスレバ該委員會ハ全然不用ナルベシ又此諮問機關成立ノ上ハ事實上税関行政ヲ共同管理スルノ感ヲ与フルガ故

ニ支那側ノ反対ヲ受クベシトテ伊太利委員ニ賛成シ白耳義委員亦該委員会ハ税関ノ権限ニ立入ルモノナルコト及支那側不同意ヲ理由トシテ反対セリ

尚前電ニ於テ蔡及施側ハ暗ニ反対ナラザル旨報告セルモ兩人共未ダ我案ヲ研究シ居ラズ單ニ私見トシテ述べタルニ過ギズシテ何等ノ權威アルモノニアラズ要スルニ支那側ノ意見ハ主トシテ「ライアル」ノ方寸ニ出ヅルモノト思考セララルル処同氏モ已ニ各国委員ガ反対ナル以上税関ヲ多少共拘束スベキ国際委員会ノ設置ニ反対スベキハ想像スルニ難カラズ斯ノ如ク本案ガ各国委員ニ与フル印象頗ル不良ニシテ多少ノ修正ヲナスモ到底通過ノ見込ナキニ付此際之ガ提出ヲ見合セ更ニ審議改案ノ上特別會議ノ問題トスル方寧ロ得策ナルベシト思考ス就テハ何分ノ候九月二十五日ノ會議ニ間ニ合フ様至急御訓令相成リ度シ

(附屬書三)

別紙第三号(甲)及同(乙)

別紙第三号(甲)

九月二十三日内田外務大臣発船津總領事宛電報(甲)

我提案成立見込無キニ依リ原案ヲ修正、總會ニ提出スベキ旨訓令ノ件

其実行方法トシテ前記我方提案ヲ之ニ続ケテ詳記スル形式ヲ以テ提案セラレタシ

將又各国委員カ我提案ニ対シ加ヘタル非難ハ孰レモ尚反駁説明ノ余地アリト認メラルルモ他面本件提案ハ畢竟海關側ニ於ケル本邦商品及商人ニ対スル偏見又ハ差別的待遇ヲ除去セントスルモノニシテ(日本商人側ノ不信ニ就テハ今後充分我方ニ於テ改善ノ措置ヲ講スヘシ)而モ本件ノ如キハ特別會議ニ対スル提議ハ別トシ出来得可クハ今次會議ニ於テ之カ目的ヲ貫徹致シ度キ考ナレハ貴官亦右事情十分御含ノ上前頭ノ趣旨ニテ前回ノ訓令ニ適當修正ヲ加ヘタル我具體案ヲ先二十五日ノ總會ニ提出セラレタク申ス迄モナク右修正ノ要領ヲ會議前ニ於テ英、米、支等ノ主ナル各国委員ニ充分説明ノ上内協議ヲ進メ置キ本件達成方極力御尽力相成度シ尚右通過困難ナル場合ニ対スル措置振ニ関シテハ追テ申進スヘシ

右別紙第三号(甲)ノ附屬書

九月二十一日船津總領事宛内田外務大臣宛電報

米國勸告案

Owing to the increasing volume of imports subject to ad valorem duties and varied and complex questions

支那税関取扱振改善方ニ関スル方針第一ハ我方ノ最モ重キヲ措ク所ニシテ是非共之カ勸告案ノ通過ヲ見ムコトヲ希望スルモ貴電御申越ノ事情ヨリ見テ原案ノ儘二十五日ノ總會ニ提出スルモ其採用ヲ見ルコト到底覺束ナキ事情ニ鑑ミ支那ト日英米其他改訂會議参加諸国トヲ包含スル一ノ國際機關ヲ作ラントスル我方原案ニ変更ヲ加ヘ各参加国側ニ於テ夫々税関ノ諮詢ニ応スヘキ機關ヲ定メ(場合ニ依リテハ之カ設置ヲ各国任意トスルモ可ナリ)該機關設置ノ場合ニハ其地駐在領事ニ於テ税関長ト協議ノ上詮衡決定スルコト又当方訓令第一ノ二乃至五ノ事項ニ就テハ税関ヲシテ必ス右機關ニ諮詢照会又ハ協議セシムルコトトシ結局改訂参加各国ト税関トノ間ニ夫々實際上確實且公式ナル連絡關係ヲ存続セシムル様致シ度シ右組織變更以外ノ諸点ニ付テハ總テ曩ニ訓令シタル通ト御承知アレ

猶 Appraising Department ヲ改造シ且 Valuation Bureau ノ新設方ヲ勸告セントスル米國側提議(附屬甲参照)ハ其ノ主義ニ於テハ全然我方針ト一致スルモノナル処前回改訂ノ実情ヨリ見ルモ更ニ何等カ具体的方法ノ明示ナキ限り実益ヲ齎ラサル虞アル故右米國提案ヲ本件勸告ノ前文トシ

involved in their examination and appraisal, likelihood of early increase of such duties to seven and half per cent with a prospect of still higher rates in the near future and with a view to assisting in administration of tariff, the Commission recommends;

(1) That the Chinese maritime customs cause further development in methods and personnel of appraising departments at various ports of entry to the end that these functions so vital to the best interest of the customs as well as the interests of importers and others concerned may be administered with increasing efficiency commensurate with expanding commerce and increased revenues.

(2) The Commission further recommends to establish a customs import valuation bureau at Shanghai for the purpose of investigating domestic wholesale market values and foreign market values where domestic wholesale market values are not obtainable and to assist in advisory way in securing uniformity at various ports of entry through interchange of information relating to examination and appraisal of merchandise.

Such bureau to be in charge of an officer possessed of special knowledge, training and experience relating to examination and appraisal of imports.

Funatsu.

別紙第三号 (乙)

九月二十三日内田外務大臣宛船津総領事宛電報 (乙)

右 (甲) 案ヲ提出スルモ通過見込無キ場合ノ措置振訓令ノ件

関改第三七号

往電関改第三五号ニ関シ

第一案ヲ提出スルモ到底通過ノ見込無キ場合ニハ第二案トシテ米国案 (右別紙第三号 (甲) ノ附属書参照) ニ左記ノ修正ヲ加ヘテ支持スルノ方針ニ出テラレ度シ又若シ右修正案ノ採決ヲ得サル時ハ equity ナル文字ノミヲ挿入セシメテ賛成スルモ差支無シ孰レニスルモ米国案ハ其ノ根本ニ於テ主義上我方針ト同趣旨ノモノナルニ付已ムナク第一案ヲ撤回スル場合ニハ是非共該案ノ採決ヲ見ル様御尽力アリタシ

左記

(一) 米国案ノ (1) ノ末段ニ The Appraising Department will gather to the best of their power all available informa-

tion by means of making inquiries of Chambers of Commerce business associations and the like of foreign residents in respective port with the end in view to have thorough knowledge of actual conditions of foreign imports ナル一項挿入ノコト

(二) 同 (1) ノ末段 with increasing efficiency ノ次ニ and equity ナル二字ヲ追加スルコト尚之カ主張ニ当リテハ米国案冒頭ノ varied and complex questions involved ノ趣旨ニ言及セラレ然ルヘシト存セラル此ノ点為念

一二五 九月二十六日 在上海船津総領事ヨリ内田外務大臣宛 (電報)

上海関税會議九月二十五日總會開催全会一致
新税率表ヲ承認シ次デ其公布及実施期日ニ付
協議決定ノ件

別電 同日在上海船津総領事宛内田外務大臣宛電報
改第一二三号
九月二十五日總會ノ決定

関改第一一二号 (九月二十六日接受)

九月二十五日總會開催各国委員出席先ツ全会一致ヲ以テ新

税率表ヲ承認シ次イデ支那委員ハ十月一日公布十二月一日ヨリ実施方ニ関シ各国委員ノ承諾ヲ求メタル処英國委員ハ本国政府ノ承諾ヲ条件トシテ同意ヲ表シ直チニ電訓ヲ仰グベキ旨ヲ述べ帝國委員ハ御來訓ノ趣旨ニ從ヒ日本政府ハ成ル可ク速ニ新税率ノ実施ヲ希望スルモ華府関税条約ガ実施ニ至ラザルニ付前回ノ例ニ倣ヒ我方ヨリ支那政府ニ承諾ノ通告後公布実施スル方然ル可シト陳述シタルニ對シ支那委員ハ関税条約第十条ノ草案ヲ引用シ同条約ハ成ル可ク早く新税率ヲ実施スルノ精神ナレバ本會ニ於テ之ヲ承認スルハ至当ナリト主張シ且米國委員ノ意見ヲ訊シタルニ米國委員ハ未ダ本国政府ノ回訓ニ接セザルニ徴スルモ本国政府ハ直チニ承認スルコトニ付テモ疑問アルモノト解シ居ルガ如シ但シ政府ノ承認ヲ条件トシテ十月一日公布十二月一日実施方承認シ差支ナシト答ヘ伊及仏委員ハ右承認方ヲ本国政府ニ勧告スルコトハ可ナリト述べ瑞典及丁抹等ハ華府會議ニ關係ナキヲ以テ公布期日ヨリ起算シ二ヶ月トスルノ必要ナク直チニ実施期日ヲ定メ各自國政府ニ承認方勧告スル方然ルベシト述べ支那側ハ最初ノ主張ヲ維持セント試ミタルモ各国ノ意見一致ヲ見ルニ至ラザル為先ツ別電関改第一一三

号 (一) ヲ提案可決シタリ然ルニ各國委員ハ十月一日公布十二月一日実施ハ当然ノコトト思料シ居ルモノノ如ク仮令國ニ依リ承認ガ十月一日以後トナルモ同日ヨリ起算シテ二ヶ月後ニ実施セシムルニ同意セン意嚮ヲ有シ居レリ依ッテ帝國委員ハ各國ノ承認ノ遅速ニ依リ実施期日ノ不安定ナルコトヲ指摘シ万一或ル國ガ十二月一日迄承認セザル場合ニハ実施期日ヲ如何ニスベキヤヲ訊シタルニ英國委員ハ自國ハ勿論各國共數日中ニハ承認スルノ遅ニ至ルベク如何ナル場合ニ於テモ十二月一日迄ニハ全部承認ニ至ルハ疑ナキ所ナリト述べ我方及伊太利ハ発表及実施期日共本国政府ニ對スル勧告ノ形式トスルコトハ差支ナシト答ヘ其結果支那側ハ別電第一一三号 (二) ノ通提案シ一致可決ヲ見タリ右ニ関シ何分ノ儀御回示アリタシ尚附属規定第一条修正案及我提案等ハ九月二十六日討議ノ答

(別電)

九月二十六日在上海船津総領事宛内田外務大臣宛電報関改第一一三号

九月二十五日總會ノ決定

関改第一一三号

(九月二十六日接受)

- (1) Subject to approval of the governments concerned, the tariff commission unanimously adopt the schedule of the revised tariff as presented to various committees.
- (2) The delegation agrees to recommend to their government that the publication of the revised tariff be authorized from the First October, 1922.
- (3) The delegation agrees to recommend to their government that the new tariff come into force two months after the publication i. e. on December First, 1922, provided that the goods shipped to China before that date shall pay duty under 1919 tariff.

Funatsu.

一一六 九月二十七日

在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

海関ノ諮詢機關設置ニ関スル日本ノ修正案等

ニ対スル中国委員ライアルノ意見報告ノ件

関改第一一八号

(九月二十八日接受)

我修正案ニ対スル「ライアル」ノ意見ヲ訊シタルニ諮詢機關ハ条約ニ何等規定ナキ所ニシテ特別會議ノ問題ナリト思考ス此提案ハ「デリケート」ニシテ支那ノ主權ヲ侵スガ如キ印象ヲ与フルヲ以テ起草方ハ充分注意ヲ要スベシ若シ斯

一二七 九月二十七日

在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

海関ノ諮詢機關設置等中国税関取扱改善方

ニ関スル日本ノ提案ニ対スル英米委員ノ意見

報告ノ件

関改第一一九号

(九月二十八日接受)

我案ニ対シ英國委員ハ税関ノ諮詢機關ハ何レノ国ニモ無キ所ニシテ税関行政干涉ノ嫌アリ果シテ其ノ必要アリヤヲ疑ハシム課税価格ノ決定及公表モ亦頗ル困難ナルヘク爭議ノ解決ハ現在ノ仲裁委員會及商業會議所ノ調停ニ依リ十分ニ行ハルヘシ禁止品ノ件ニハ異議無キモ抵代税ノ件ハ支那ノ現状ニ照シ実行不可能ナリ又公定割合ノ決定モ實現困難ナレハ討論ノ必要ナルヘシト述ヘ米國委員ハ我方提案ノ多クハ米國提案ノ通過ニ依リ相当改善セラルヘク仮令我提議ノ諮詢機關ヲ設クルモ夫レ以上ノ改善ハ望ミ難ク税関側ハ勿論之ニ反対スヘク他ノ委員モ多クハ其ノ必要ヲ感セサルヘシ米國ノ第一条修正案通過セハ日本ノ希望スル通り紛議ノ多クハ右ニ依リ解決セラルルニ至ルヘク数量制限禁止品ノ告示ニ付各海関一律ニ実行センコトヲ勧告スルハ現在一

ル機關設ケラルルモ其事務煩多ニシテ委員タル人アルベキヤ疑ナキ能ハズ課税価格ノ公示ハ絶対ニ不賛成ナリ物価ハ絶エズ変化シ居リ之ヲ決定スルコト不可能ナルベク税関ニテ作製スル標準価格表ハ単ニ税関内部ノ参考トスルニ(脱)強制力ナキモノナリ査定税額ヲ税関ニ供託シテ貨物ヲ引取ラシムルコトハ差支ナキ限り從來ニテモ実行シ居ル管ナルガ貨物ヲ没収スル場合アルヲ以テ税額ノミニテハ不十分ナリ又領事館ニ供託セズトモ税関ヲ信用シ之ニ供託スル方至当ナリ輸入禁止品ノ件ハ特別會議ニ移シテ然ル可ク抵代税モ無論北京ノ問題ナリ原語記入ノ件ハ単ニ日本語ノミナラズ各國ニ亘ル問題ニテ極メテ困難ナリ殊ニ右ハ不正商人ニ悪用セラルル虞アルヲ以テ絶対ニ同意シ難シ公定割合ノ件ハ前回會議ニ於テ討議シ尽サレタルモノニシテ造幣廠ノ出来ザル限り実行不可能ノ問題ナリ「インボイス」到着前貨物引取ノ件ハ機械ニ就キテハ已ニ実行シ居ル管ナリト述べタリ

北京へ転電セリ

律ナラサルコトヲ認メシムルコトナレハ右ハ単ニ支那委員ノ注意ヲ喚起スルニ止メ勧告案ヨリ削除スル方然ルヘク抵代税ノ件ハ仮令通過スルモ実行困難ナレハ寧ろ特別會議ノ問題トスルヲ可トシ公定割合ノ決定ニ付テハ実状ヲ知ラサルモ諮詢機關又ハ商業団体ノ意嚮ヲ参酌スルノ必要ヲ認メスト語レリ

在支公使へ転電セリ

註 公定割合ノ決定トハ納税用通貨ト海関両トノ公定割合ノ決定ノ意ナリ

一二八 九月二十七日

在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

c. i. f 案ニ付中国委員ライアルト意見交換ノ件

関改第一二〇号

(九月二十八日接受)

「シー、アイ、エフ」案ニ対シ「ライアル」ハ支那トシテハ承諾シ難ク自分モ不賛成ニシテ通過困難ナラント述べ右ニ対スル我方ノ意見ヲ求メタルヲ以テ日本ハ現行規定ニ多少ノ修正改良ヲナスニハ賛成ナルモ原則ノ變更ニハ不賛成ナリ何トナレバ市場ノ価格ヲ基礎トスル方「シー、アイ、

エフ」価格ニ依ルヨリモ高キヲ以テ日本品ノ現状ニアリテハ前者ニ依リ課税セラレ其間不公平ヲ生ズベケレバナリ若シ後者ヲ以テ原則トスルニ於テハ我方ハ控除率七「パーセント」ノ引上ヲ主張スベシト答ヘタルニ「ライアル」ハ至極尤モナリト同意ヲ表セリ又米國委員ハ英國案ハ通過困難ナリト觀測シ居リ英國委員モ英案ノ通過ヲ悲觀シ英國商業會議所側ニ於テ協議中ナリ

在支公使ヘ転電セリ

註 「シー・アイ・エフ」(s. i. f.)ハCost, insurance and freight (保険料及運賃込値段)ノ略語ナリ

一二九 九月二十九日

在上海船津總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

上海関税改訂會議九月二十八日ノ最終總會ニ

於テ附属規程第一条修正ノ英國案米國案瑞典

提議我勸告案等ヲ審議ノ件

別 電 同日在上海船津總領事宛内田外務大臣宛電報關

改第一二二号

附属規程第一条第一項後段ノ修正

関改第一二二号

(九月二十九日接受)

九月二十八日(不明)委員ハ関改第一一八号乃至第一二〇

所アリ依ッテ賛否ヲ糺シタル処日本、支那、和蘭、米國ノ外ハ何レモ英案ニ賛成ヲ表シタルモ全会一致ニ非ザルヲ以テ否決トナレリ次イデ規程第一条米國修正案(拙電関改第一一五号)ノ討論ニ移リタルニ依リ貴電関改第三六号御訓令ノ趣旨ニ從ヒ修正ヲ提議シタルモ米案ニテ差支無シトテ賛成者無ク其他ノ点ヲ多少修正シテ可決セリ尚英國ノ提議ニ依リ規程第一条第一項後段ヲ別電関改第一二二号ノ通り修正可決セリ

次イデ瑞典委員ハ我案ト同様關係書類未着ノ場合ニ於ケル荷物引取りノ便法及損傷貨物ノ課税割引方ニ関シ附属規程第一条ノ追加ヲ設クルノ提議ヲ為シタルニ依リ帝國委員ハ之ニ賛意ヲ表シタルガ支那委員ハ後者ニ對シテハ現行規程ニテ充分ナルベク前者ニ對シテハ規程追加ハ勿論勸告ノ形式ヲ以テスルモ之ガ通過ニハ絶対不賛成ナリ但稅關トシテハ機械等ニ就テハ從來既ニ辦法ヲ講ジ其他ニ對シテモ成ルベク便宜ヲ図ルコトトスベシト述ベ此說明ニ満足ノ意ヲ表シ瑞典委員先ヅ原案ヲ撤回シ帝國委員モ本件ニ關スル我勸告案ヲ撤回セリ次イデ我勸告案ノ輸入禁制品ニ關スル二項及抵代稅問題ニ付テハ支那委員ハ支那政府ノ考慮決定スベ

号ヲ以テ報告ノ通我修正案ニ對スル英、米及支那委員等ノ同意見ニ徴シ本邦案ノ大部分殊ニ諮詢機關設立ハ到底通過ノ見込ミ無キコト明白トナリシヲ以テ當委員ハ最早御訓令ヲ仰グノ暇無カリシニ依リ不得已專断ヲ以テ通過不可能ト認メラルル事項及他國案ニ依リ我目的ヲ達セラル可キ事項ヲ削除シ單ニ輸入禁止品ニ關スル二件抵代稅ノ件及税金概算額供託貨物引取りノ件ノミヲ提出スルコト致シタルニ付右御承認相成度シ會議ノ劈頭附属規程第一条英國修正案ヲ討論シ英國委員之ヲ説明シ支那委員ハ各委員ノ意見ヲ徵シタルヲ以テ帝國委員ハ日本トシテハ現行規程ノ原則ヲ變更セザルコトヲ希望スル旨竝「c. i. f」ノ原則ヲ採用スルコトトナルニ於テハ諸掛リ七分ハ現今到底不足ヲ免レザルコトハ本會議ノ当初英國其他ノ委員ニ依リ指摘セラレタル通ナレバ卸売り價格ニ對シ税金及七分ヲ控除シタル價格ニ對シ輸入稅ヲ支払フ者ハ常ニ「c. i. f」ニ對シ輸入稅ヲ支払フ者ヨリ不利益ヲ蒙ルコト成ルヲ以テ控除率七「パーセント」ノ増率ヲ主張スベキ旨ヲ説明シ和蘭及白耳義米國委員等之ニ對シ意見ヲ述ベ蔡廷幹及「ライアル」ハ支那側ノ立場ヲ説明シ英國案ヲ採用シ難キ旨ヲ縷述スル

キ問題ニシテ本會議ニ於テ勸告スルモ其効果少ク且遠カラズ開催セラルベキ特別會議ニテ討議セラルル方然ルベク前回改訂ノ際該勸告案ヲ附議シタルハ近キ將來ニ於テ適當ナル機會ナカリシニ依リ旨ヲ述ベ英國委員ハ我案ノ趣旨ニハ同意ナルモ右ハ特別會議ノ問題トスルヲ可ナリトナシ他國委員ニ於テモ英支ノ意見ニ同意スル者多ク帝國委員モ通過困難ナル以上同會議ニ移ス方然ルベシト認メ撤回スルコトトシタリ

最後ニ附属規程中「ドローバックス」ニ關スル米國修正案(関改第一一六号拙電ノ四)ヲ討論シタルガ支那委員ハ日清通商条約中ニハ原包裝ヲ更改セザル場合ノミヲ規定シ包裝ヲ變ユル場合ヲ包含セザルヲ以テ當委員會ノ問題ニ非ズトナシ否決トナレリ

茲ニ於テ蔡議長閉會ノ辭ヲ述ベ首席領事之ニ答ヘ以テ本關稅改訂會議ヲ終了セリ我勸告案ニ關シ帝國委員ハ終始各國委員ヲ歴訪シ本邦提案ノ趣旨ヲ説明シ以テ其諒解ヲ得ルコトニ極力努力シタルニ拘ラズ遂ニ本會議ニ於テ我方ノ目的ヲ充分貫徹スルコト能ハザリシハ頗ル遺憾トスル所ナリ本電別電ト共ニ在支公使ヘ転電セリ

註一 船津総領事九月二十七日発関改第一一五号ヲ省略セルガ右ハ九月二十六日ノ総会ニ於ケル附属規程第一条ノ米國修正案ノ審議等ヲ報告セルモノナリ

2 内田外務大臣九月二十三日発船津総領事宛関改第三六号ヲ省略セルガ右ハ附属規程第一条修正ノ米國案ヲ修正、支持スル様訓令セルモノナリ

3 船津総領事九月二十七日発関改第一一六号ヲ省略セルガ其(四)左ノ通

(4) Drawbacks.

Drawbacks will be issued for duty paid goods exported to a foreign country in conformity with existing treaties under general regulations to be prescribed by Chinese Maritime Customs including such goods packed or repacked under Customs supervision, provided that their identity is satisfactorily established. Drawbacks will be issued for ships stores and bunker-coal when taken on board.

(別電)

九月二十九日在上海船津総領事発内田外務大臣宛電報関改第一二二号
附属規程第一条第一項後段ノ修正

関改第一二二号 (九月二十九日接受)

This market value, when converted into Haikan

Taels, shall be considered to be in excess of duty paying value by the amount of duty on goods and seven per cent of duty paying value of goods.

Funatsu.

一三〇 九月三十日 外務省公表

中国改訂輸入新税率表案採用ニ関スル件

支那改訂輸入税率表案概要

支那政府ノ招請ニ基キ同国現行輸入税率ヲ現実從価五分ニ改訂スル目的ヲ以テ本年三月三十一日上海ニ開催セラレタル支那関税改訂會議ハ支那ノ外日、英、米、仏、伊、白、蘭、葡、西、瑞典、諾、丁、伯ノ十四箇国委員ヲ以テ組織セラレ先ツ改訂税率ノ基礎タルヘキ標準年度及基礎価格ニ付千九百二十一年十月ヨリ二十二年三月ニ至ル六箇月間ノ上海平均卸売市価ヨリ其ノ七分及現行税表ニ依ル税額ヲ控除セル額ヲ採用スヘキコト及綿糸布ニ付テハ之ガ標準トナルヘキ主要貨物ニ依リ算定シタル平均増加率ニ依リ一律ノ附加税ヲ賦課スヘキ旨ノ原則ヲ決定シタル上税率ノ算定及税目分類ノ変更ヲ審議スルカ為三十箇ノ小委員会ヲ組織シテ審議ヲ遂ケタル結果右小委員会ノ決定ニ基キ九月二十五

一三二 十月五日 在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国関税改訂會議英國委員新関税率実施期日

ニ関スル各国政府ノ意嚮問合ノ件

別電 同日船津総領事発内田外務大臣宛電報関改

第一三一号

右英國委員問合ノ件

関改第一三〇号 (十月五日接受)

新税率実施期日ニ関シ英國委員ハ其筋ヨリ訓令ニ接シ各国委員ニ対シ各国政府ノ意嚮ヲ照会シタルカ其ノ手紙ノ一部ハ別電関改第一三一号ノ通ナリ尚「フォックス」ハ横竹商務官ニ対シ英國ハ単ニ十月一日ニ公表スルコトニ同意セルノミニテ実施期日ニ付テハ未タ同意シ居ラス各国カ十二月一日実施ヲ承認スルニ於テハ英國ハ勿論異議ナカルヘキモ英國ノミ承認スルモ何等効果ナキヲ以テ本國政府ハ日、米ト一致シテ速ニ承認ヲ与ヘ其他ノ國ヲシテ之ニ倣ハシムルノ意向ナルヘシト述ヘタリ

(別電)

十月五日在上海船津総領事発内田外務大臣宛電報関改第一三一号

日總會議ニ於テ左記概要^(註)ノ如キ改訂輸入税率表案ヲ採用シタリ右新税率表案ハ今後本會議ニ参加シタル各国政府ノ承認ヲ經タル上実施セララルモノナル処帝國政府ニ於テハ既ニ華盛頓會議ニ於テ調印セラレタル支那関税條約ノ精神ニ鑑ミ成ルヘク速ニ右実施方ヲ承認スヘキ意嚮ナリ尚該実施期確定ノ上ハ追テ公表スヘシ

註 左記概要ヲ省略ス

一三一 十月三日 在上海船津総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

改訂輸入税率十二月一日ヨリ実施ニ関スル上

海税関告示ニ付報告ノ件

関改第一二七号 (十月四日接受)

当地税関長ハ十月一日附ヲ以テ左ノ通税関告示ヲ發表セリ

Under instructions from the inspector general of Customs, notice is hereby given that subject to approval of governments concerned, revised import tariff for trade of China of 1922 will come into force on December 1st, 1922, except for shipments to China made prior to December 1st, 1922.

北京へ郵送ス

新関税率実施期日ニ関シ英国委員ヨリ各国政府ノ意圖問合ノ件
関改第一二二号 別電 (十月六日接受)

The Foreign Office authorize me to approve the tariff schedule as revised by the Tariff Commission and to agree to their publication as on October 1. As regards the date on which the new tariff is to come into force, the Foreign Office state that they presume it will not be necessary to await the ratification of the Washington Treaty by all the Powers. I am instructed to ascertain from my colleagues on the Commission when their Governments will be willing that the new tariff should take effect. Funatsu.

一三三 十一月五日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国改訂関税率実施期日ニ関スル我方提案ニ
各国公使トモ異議無キニ付我方ノ新関税率承
諾ヲ十一月十五日以前ニ中国政府ヘ通告スル
様稟請ノ件

第六九一号

(十一月五日接受)

往電第六五二号改訂関税実施期日ノ件ニ関シ各国公使トモ
我方提案ニ異議無ク(米国公使館ハ本国ヘ請訓ノ上同意)

二 九月二十五日上海関税改訂委員ニ於テ採用セ
ラレタル改訂税率ノ公表及実施方ニ付関係各

国政府ヘ為スヘキ勸告ニ関スル決議

附記 十一月二十五日附二上枢密院書記官長ヨリ清

浦同院議長宛審査報告

通総機密第一三二二号

今回ノ上海関税改訂會議ニ於テ議定シタル支那改訂輸入税
率ノ実施方ニ付支那政府ニ対シ承認ヲ与フル儀ニ関シ別紙
ノ通上奏仕度候ニ付右大至急可然御取計相成度此段申進候
也

(附屬書一)

上 奏 案

支那現行輸入税率ハ大正七年上海関税改訂委員會ノ議定ニ
係リ戦時ノ異常価格ヲ基礎トスルモノナルヲ以テ当時関係
国間ニ於テハ戦後二箇年ヲ経テ之カ再改訂ヲ為シ得ヘキ旨
ノ約束成立シ支那政府ニ於テハ大正九年以來右ノ約束ニ基
キ列国ニ対シ輸入税再改訂ノ希望ヲ表明シ来リタル処客年
開催ノ華盛頓會議ニ於テ支那ノ関税ニ関スル条約ノ締結セ
ラルルヤ列国側ニ於テハ右支那側ノ希望ヲ容レ該条約ノ一
条項トシテ支那輸入税率現実五分再改訂ヲ速ニ実行スヘキ

首席公使ハ当館起草公文案ニ依リ既ニ外交部ニ申入済ノ趣
ナルガ税関ニ於テハ未ダ何等追加告示ヲ出スニ至ラズ然ル
ニ我方トシテハ本件提議ノ行掛リニ鑑ミルモ可成十一月十
五日以前ニ支那政府ニ承諾ノ通告ヲ発シ置クコト我提案ノ
真意ヲ了解セシメ且無用ノ疑惑乃至非難ヲ避クル為ニモ必
要ノ儀ト思考セラルル処凡ソ何日頃右ノ運ビニ至ル可キヤ
大体ノ日取り御回示アリタシ
在上海総領事ヘ郵送セリ

註 小幡公使十月十四日発内田外務大臣宛第六五一号ヲ省略セ
ルガ右ハ大臣訓令(十月六日外務大臣発小幡公使宛第五〇
七号ヲ省略セリ)ニ基キ小幡公使ヨリ首席公使ニ対シ「各
国公使ニ於テ同意ナルニ於テハ首席公使ヨリ中国政府ニ対
シ各国ノ新税率及其ノ実施期日(十二月一日)承認ノ通告
出揃ヒタルトキハ直ニ其旨告示スベク又何等カノ事情ニテ
十一月十五日迄ニ右様ノ告示ヲ為サザル時ハ該告示ヲ為セ
ル日ヨリ二週間後ヲ以テ実施期日トスベキ旨公示方交渉ス
ルコト」ト致シ度旨ヲ提議シタルコトヲ報告セル電報ナリ

一三四 十一月十一日 内田外務大臣ヨリ
加藤総理大臣宛

中国改訂輸入税率ノ実施方承認ニ付上奏ノ件

附屬書一 右上奏案

旨ヲ規定シタリ

是ニ於テ支那政府ハ本年一月関係各国政府ニ対シ関税改訂
會議ノ開催方ヲ招請シ關係各国ニ於テハ右支那側ノ招請ヲ
応諾シテ夫々委員ヲ派遣シ此等委員ハ本年三月三十一日以
来上海ニ会同シテ関税改訂ニ関スル會議ヲ開キ千九百二十
一年十月乃至千九百二十二年三月ノ六ヶ月間ニ於ケル上海
平均市価ヲ以テ税率算定ノ基礎價格ト為スコト並綿布及綿
糸ニ付テハ右期間内ニ於ケル平均増価指数ニ依リ現行税率
ヲ一律ニ増率スヘキコトノ原則ヲ定メ右原則ニ基キテ税率
ノ算定等ニ付審議ヲ遂ケタル上九月二十五日附屬甲号
改訂輸入税率表案ヲ議定致候而シテ右改訂税率実施期ニ関
シテハ前記支那ノ関税ニ関スル条約ノ精神ニ遵ヒ改訂委員
会ニ於テハ關係各国全部ノ承認ヲ得タル上十二月一日ヨリ
之カ実施ノ運ニ至ラシムヘキ様各国政府ニ勸告スヘキ旨ノ
決議ヲ為シタリ仍テ帝國政府ニ於テモ日支両国親善ノ誼ニ
基キ右ノ趣旨ニ依リ成ル可ク速ニ之カ実施方承認ヲ与フル
コトト致シタキニ依リ右御裁可アラセラルル様仕度前記改
訂税率表案並附屬乙号關係文書相添此段謹ミテ奏ス
大正十一年十一月十一日

外務大臣

註 附属甲号、支那改訂輸入税率表案省略

(附属書二)

附属乙号

千九百二十二年九月二十五日上海関税改訂委員会ニ於テ採用セラレタル改訂税率ノ公表及実施方ニ付關係各國政府ヘ為スヘキ勸告ニ関スル決議

(一) 各國委員ハ千九百二十二年十月一日ニ於テ新税率カ公表セラレタルモノト認ムヘキコトヲ各其ノ本国政府ニ対シ勸告スルコトニ同意ス

(二) 各國委員ハ新税率カ公表ノ時ヨリ二月後即チ千九百二十二年十二月一日ヨリ実施セラルヘク尤モ右期日以前ニ支那ニ向ケ船積セラレタル貨物ハ千九百十九年ノ税率ヲ適用セラルヘキモノト為スコトヲ各其ノ本国政府ニ勸告スルコトニ同意ス

(附記)

十一月二十五日附二上枢密院書記官長ヨリ清浦同院議長宛審査報告

支那改訂輸入税率ノ実施方承認ノ件

審査報告

謹テ今回御諮詢ノ支那改訂輸入税率ノ実施方承認ノ件ヲ審

表者ニ於テ商議ヲ遂ケタル結果帝国及支那国外七國ノ間ニ支那ノ関税ニ関スル条約ヲ締結シ同条約ヲ以テ締約國ハ現行支那國輸入税率ヲ現実從価五分ニ相当セシムル様改訂スヘキコトヲ承認シ右税率改訂ヲ行ハシムル為成ルヘク速ニ上海ニ於テ委員會ヲ開催スヘキコト及改訂税率ハ委員會ニ於テ之ヲ公表シタル時ヨリ二月以後成ルヘク速ニ之ヲ実施スヘキコトヲ規定シタリ茲ニ於テ支那國政府ハ本年一月前記戦後二年ニシテ税率ノ再改訂ヲ為スヘキ旨ノ協定及華盛頓會議ニ於テ成立シタル条約ノ趣旨ニ基キ速ニ同國輸入税率ノ改訂ヲ審議スヘキ委員會ヲ開催セムコトヲ提議シ列國政府ハ之ニ応諾シ本年三月三十一日以降帝國及支那國ノ外英吉利、亞米利加、仏蘭西、伊太利、白耳義、和蘭、西班牙、葡萄牙、丁抹、瑞典、諾威、伯刺西爾計十四國ノ委員上海ニ会同シ反覆交渉ノ結果終ニ九月二十五日ヲ以テ右税率ノ改訂ヲ議了スルニ至レリ是レ即チ本案ノ支那改訂輸入税率表ナリ

今回改訂ノ税率ハ従前ノ慣行ニ準シ各種貨物ノ大正十年十月ヨリ大正十一年三月迄ノ六月間ニ於ケル上海卸売相場ノ平均額ヲ基礎トシ之ニ從価五分ノ原則ヲ適用シ其ノ税額ヲ

査スルニ支那國ノ輸入税率ハ条約上現実從価五分ヲ原則トシ貨物輸入ノ都度一々之ヲ評價シテ其ノ税額ヲ決定スルノ煩争ヲ避クル為各種貨物ニ就キ最近既往ノ平均價格ヲ算定シ其ノ輸入税額ヲ恰モ該平均價格ノ五分ニ相当セシムル様從量ニ換算シタル税率ヲ協定スルコト従前ノ慣行ニシテ從テ各種貨物ノ價格ノ變動ニ応スル為時々右從量税率ヲ改訂スルコト亦年来ノ方針ナリ而シテ現行輸入税率ハ大正七年十二月帝國及支那國外十三國ノ専門委員カ上海ニ於テ協定シタル所ニ係リ帝國政府ハ本院ノ御諮詢ヲ經テ之ヲ承認シ各國政府モ亦之ヲ承認シ大正八年八月以降實施ノ効力ヲ生シタルモノナルカ此ノ輸入税率ハ各種貨物ノ明治四十五年乃至大正五年ノ平均價格ヲ基準トセルモノニシテ即チ歐洲戰爭中ニ於ケル異常ノ物価ヲ以テ根底ノ一部ト為シタルカ故ニ當時各國政府ニ於テハ一般講和条約批准ノ後二年ヲ經過シタルトキ該新税率ノ全部又ハ一部ヲ改訂スルコトヲ得ヘキ旨ヲ協定シタリ仍テ支那國政府ハ大正九年二月早クモ右税率再改訂ノ議ヲ提唱スル所アリ之ニ関シ列國政府ノ間ニ折衝ヲ重ヌル央ニ於テ客年十一月華盛頓ニ列國會議ノ開催セラルルニ至ルヤ本件ハ直ニ該會議ノ議題ト為リ各國代

從量ニ換算シタルモノナルモ綿布及綿糸類ニ在リテハ季節ニ依リ價格ノ差異著シキモノアリテ他ノ貨物ト同様ニ之ヲ取扱フトキハ各品目ニ対スル課税衡平ヲ失スヘキカ故ニ其ノ主要品目ノ右期間内ニ於ケル平均價格ト現行税率ノ基礎價格トノ比較ヲ基本トシ該品目ノ國別輸入數量ヲ斟酌シテ其ノ總品目ノ價格騰貴ノ平均指數ヲ五八強ト算定シ之ヲ一律ニ現行税率ニ乗シテ改訂税率ヲ決定シタリ而シテ改訂税率中間々從量ニ換算セサルモノアルハ該品目ノ價格ノ高低著シクシテ其ノ平均價格ニ依リ從量ニ換算スルコト妥當ナラサルカ又ハ右換算ノ協議調ハサリシカニ職由ス

今回ノ税率改訂委員會ニ於テハ本税率表ノ末尾ニ税率カ價格ヲ標準トシテ規定セラレタルトキハ當該貨物ノ地方卸売市価ヨリ税額及基礎價格ノ百分ノ七ニ相当スル金額ヲ控除シタルモノヲ以テ基礎價格ト為ス旨ノ附註ヲ追加スルコトヲ決議シタリ又税率表ニハ従前之ニ附属セル規程アリ該規程ニ於テ本税率表ニ掲ケサル貨物ノ輸入税率ハ從価五分ナルコトヲ明示シ輸入貨物ノ基礎價格ヲ決定スヘキ方法ヲ規定シ貨物ノ價格又ハ類別ニ付税關ト輸入者トノ間ニ爭議ヲ生シタルトキ之ヲ仲裁委員會ニ付議スヘキコトノ条項ヲ設

ケ外国産米、金銀、印刷書籍外数種ノ物品ヲ以テ輸入免税品トシ兵器彈藥軍需品、食塩及阿片類ヲ以テ輸入禁制品トスルコト等ノ規定ヲ掲ケタリ而シテ今回ノ税率改訂委員會ニ於テハ併セテ右規程ノ改訂ヲ審議シ税関對輸入者間ニ爭議ヲ生シタル場合ニ於テハ先ツ輸入者ヨリ税関長ニ異議ヲ申立テ税関長ハ前決定ヲ再審シ異議申立ニ理由ナシト認メタルトキ始メテ之ヲ仲裁委員會ニ付議スヘキモノト為スコト等ノ改正ヲ決議シタリ

今回ノ改訂輸入税率ノ実施期日ニ関シテハ税率改訂委員會ニ於テ前記華盛頓會議締結ノ條約ノ精神ニ循由シ各國委員カ新税率ハ本年十月一日ニ於テ公表セラレタルモノト認ムヘキコト及新税率ハ原則トシテ右公表ノ時ヨリ二月後即チ本年十二月一日ヨリ之ヲ實施シ此ノ期日以前ニ支那ニ向ケ積出サレタル貨物ニハ特ニ現行税率ヲ適用スルモノト為スヘキコトヲ各其ノ本国政府ニ勸告スルコトニ同意スル旨ノ決議ヲ為シタルニ依リ改訂税率ハ關係国全部ノ政府カ本年十二月一日以前ニ之ヲ承認シ且右勸告ヲ容認スルニ於テハ原則トシテ同日ヨリ實施ノ効力ヲ生スヘキモノナリトス尤モ現ニ支那国ト條約關係ヲ有スルモノノ中瑞西、秘露、

レムコトヲ請フ

帝國政府ニ於テハ列国協調ノ趣旨ニ遵ヒ隣邦親善ノ精神ニ拠リ此ノ際本案ノ支那改訂輸入税率ノ實施ヲ承認スルノ処置ヲ執ラムトスルモノニシテ是レ固ヨリ帝國ノ對支貿易ニ影響スル所鮮少ナラスト雖前來ノ經過ニ顧ミ当面ノ事態ヲ念ヒ寔ニ止ムヲ得サル所ナリト認ム即チ本案ハ此ノ儘之ヲ可決セラレ然ルヘシト思料ス
右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

大正十一年十一月二十五日

枢密院書記官長 二上 兵治

枢密院議長子爵 清浦 奎吾殿

註 右審査報告書ノ冒頭欄外ニ左ノ記入アリ

「大正十一年十一月二十八日枢密院會議ニ於テ可決（川島通商局総務課長）」

（別紙一）

大正十一年支那輸入税率改訂ニ関スル説明書

一、現行支那輸入税率ハ大正七年ノ改訂ニ係リ同八年八月一日ヨリ實施セラレタルモノニシテ其ノ税率ハ大正元年乃至五年ノ五箇年間ノ物価ヲ基礎トシテ算定セラレ即チ戰時異常価格ノ一部ヲ加算シタルモノナルカ故ニ右改訂ノ當時

「コンゴ」、墨西哥等ノ諸国ハ今回ノ税率改訂ニ参加セサリシモ此等諸国ト支那国トノ條約ニハ特別ノ税率表ナク單ニ支那国ト他ノ外国トノ間ニ適用セラルル税率ヲ其ノ儘準行スヘキ旨ヲ規定セルニ止マルカ故ニ今回ノ改定税率ハ当然右諸国ノ貨物ニ適用セラルルモノナリ

今回ノ改訂税率ヲ以テ現行税率ニ比較スルニ間々變更ナキモノ又ハ減少スルモノアルモ概ネ増加スルモノニシテ其ノ増加歩合ハ固ヨリ各品目ニ依リ一樣ナラス綿布及綿糸類ニ付テハ通シテ約五割八分、其ノ他ノ從量税品ニ付テハ平均約二割ノ増加ニシテ仮ニ大正十年中ノ支那国輸入貨物ニ改訂税率ヲ適用スレハ輸入税收入ノ總額ニ於テ約五百八十万七千海關兩ノ増加ヲ生スル計算ナリ就中帝國ヨリ輸入スル貨物ニ在リテハ綿布及綿糸類ニ付同シク通シテ約五割八分、其ノ他ノ從量税品ニ付平均約二割三分ノ増加ニシテ仮ニ大正十年中ノ支那輸入本邦品ニ改訂税率ヲ適用スレハ輸入税負担ノ總額ニ於テ約二百三十九万二千海關兩ノ増加ヲ來ス計算ナリ

本案ノ支那改訂輸入税率表ノ成立ノ經過及實施ノ影響ニ付テハ別紙外務省ヨリ送付アリタル説明書ヲ併セテ参照セラ

關係国間ニ於テ戰後即チ一般平和條約ノ批准交換後二年ヲ経テ之カ再改訂ヲ為シ得ヘキ旨ノ約束成立シタルコトハ現行税率ノ實施方承認ヲ与フル件ニ付御諮詢アリタル際ニ於テ既ニ枢密院ノ御協賛ヲ得タル所ナリ

二、支那政府ニ於テハ大正九年以來關係各國ニ對シ右ノ約束ニ基キ屢輸入税率再改訂ノ提議ヲ為シ之ニ對シ帝國政府ニ於テハ一面戰後物価猶不安定ナル事情ニ鑑ミ右再改訂ヲ一時延期スルト共ニ他面支那政府ヲシテ財政上ノ所要ニ応セシメムトノ見地ニ基キ改訂實施ニ至ル迄ノ暫行的措置トシテ現行税率ニ對シ四分ノ一乃至三分ノ一ノ附加税ヲ賦課スヘシトノ提議ヲ為シタルカ關係各國側ニ於テハ時機尚早ヲ理由トシテ右支那側ノ提議ヲ拒絕シ次テ大正十年十一月支那政府ハ重テ關係各國ニ對シ前記我方提議ノ趣旨ニ依リ二割五分暫行附加税案ノ承認ヲ求メ來リタルカ之ニ對スル各國ノ議纏ラサル間ニ華盛頓會議ノ開催ヲ見タリ

三、同會議ニ於テ参加各國ハ支那関税率ヲ相当ノ程度迄引上クルコトヲ承認シ其ノ結果トシテ支那ノ関税ニ関スル條約ノ調印ヲ見右條約第一条ニ於テハ支那現行輸入税率ヲ條約調印ノ日ヨリ四月以内ニ現實五分ニ改訂シ且改訂委員會

ニ於テ之ヲ公表シタル時ヨリ二月後ニ於テ成ルヘク速ニ之ヲ実施スヘキ旨ヲ規定シタリ

四、仍テ支那政府ハ本年一月関係各国ニ対シ前記戦後二年再改訂ニ関スル関係国間ノ約束及華盛頓會議決定ノ精神ニ基キ輸入税率改訂會議ノ開催方ヲ招請シ来リ帝國政府ニ於テハ右支那側ノ招請ヲ応諾シ在上海總領事船津辰一郎ヲ委員長トシ外務大藏農商務高等官中ヨリ各一名ノ委員ヲ上海ニ簡派シ支那ノ外英、米、仏、伊、白、蘭、西、葡、丁、瑞典、諸、伯ノ十三箇国ヨリモ夫々委員ヲ派遣シ此等委員ハ本年三月三十一日以来上海ニ会同シテ輸入税率改訂ニ関スル會議ヲ開キ先ツ改訂税率算定ノ基礎価格トシテ大正十年十月乃至十一年三月ノ六月間ニ於ケル上海平均卸売市価ヲ採用シ特ニ綿糸及綿布ニ付テハ其ノ主要貨物ノ右六月間ニ於ケル平均価格ト其ノ現行税率ノ基礎価格トヲ比較シテ算定シタル平均増価指数ニ依リ一律ニ現行税率ヲ増加スルコトノ原則ヲ定メ右ノ原則ニ基キテ税率ノ算定ヲ行フト共ニ現行税目中變更ヲ必要トスルモノニ付テハ夫々其ノ變更ヲモ審議シタル上去ル九月二十五日ヲ以テ改訂輸入税率表案ヲ議了シタリ

ル華盛頓會議調印ノ条約ハ猶未タ実施セラレサルヲ以テ固ヨリ之ニ依リ得サルモ右規定ノ精神ニ鑑ミ改訂委員會ニ於テハ關係各国全部ノ承認ヲ經タル上本年十二月一日ヨリ之カ実施ノ運ニ至ラシムヘキ様各国政府ニ勸告スヘキ旨決議ヲ為シタリ尤モ帝國政府ニ於テハ右委員會ノ勸告ニ拘束セラレサルコト勿論ノ議ナルモ前述戦後二ケ年再改訂ニ関スル約束並日支兩國親善ノ誼ニ基キ支那政府ニ対シ右ノ趣旨ニ依リ成ル可ク速ニ列国ト等シク改訂税率ノ実施方承認ヲ与フルコトト致シタク右承認方ニ付玆ニ御裁可ヲ奏請シタル次第ナリ

七、尚右改訂税率実施ノ結果トシテ支那政府力得ヘキ関税増収額ハ之ヲ推算スルコト甚タ困難ナルモ大正十年度ノ同国税関統計ニ依リテ計算シタル所ニ依レハ同年度支那輸入税収額ハ約二千八百六十万海關兩ニシテ改訂ニ因ル増収額ハ約五百八十一万海關兩即チ約九百十二万円（一〇〇海關兩＝一五七円トシテ換算）トナル計算ナルヲ以テ改訂税率ハ現行税率ニ比シ大凡二割増見当ノ計算ナリ

（別紙二）

右説明書附屬（参考）

五、右改訂税率算定ノ基礎価格トシテ前記六月間ノ平均價格ヲ採用シタルハ一面支那ニ於ケル物価カ昨年下半年頃ヨリ漸次低落ノ趨勢ニ至リタルニ鑑ミ他面成ルヘク改訂會議ノ手数ヲ簡單ニシ其ノ進捗ヲ出来得ル限り速ナラシムヘシトノ支那側ノ希望ヲ容レタルニ因ルモノニシテ又綿布及綿糸ニ付平均増価率ニ依ルノ特例ヲ認メタルハ此ノ種貨物カ支那輸入品中ノ大宗ニシテ而モ季節ニ依リ其ノ需給状態ニ著シキ異同アルモノナルヲ以テ右六ヶ月間ノ物価ヲ標準トシテ税率ヲ算定スルトキハ各個商品間ノ負担ノ衡平ヲ失スヘシトノ理由ニ依リタル次第ナルカ右ノ方法ニ依ル場合ニ於テモ尚各個商品及各国商品間ノ負担ノ衡平ヲ期スルカ為各主要貨物ノ増価率（其ノ現行税率ノ基礎価格ニ対スル六ヶ月間平均価格ノ増加割合）ヲ決定スルニ際シテハ当該主要貨物ノ国別輸入数量ニ按照シ該主要貨物ノ平均増価率ヲ算定スルニ際シテハ当該主要貨物ノ輸入数量ニ按照スルコトトセリ而シテ右ノ方法ニ依リ算定シタル總平均増価率ハ各個商品ニ付改訂シタル場合ニ於ケル總平均増価率ヨリ幾分低キモノト推算セラル

六、右改訂税率ノ実施方ニ関シテハ前記支那ノ関税ニ関ス

一、本邦品負担増加額

一、既ニ新関税率ノ承認ヲ了シタル關係国

關係国中支那政府ニ対シ既ニ新税率ノ承認ヲ通告シタル国ハ英、米、仏、白、蘭、丁ノ六箇国ニシテ未タ承認ヲ通告セサル国ハ本邦及伊太利ノ二国ナリ尚其ノ他ノ關係国ニ付テハ不明ニ付目下取調中

三、新税率ノ実施期日

改訂税率ハ關係各国全部カ関税委員會勸告ノ趣旨ニ遵ヒ十二月一日以前ニ承認ノ通告ヲ了シタルトキハ同日ヨリ実施セラルルモ然ラサル場合ニハ最惠国條款ノ適用上最後ノ国ノ承認アリタル時ヨリ実施セラルヘキ筋合ニシテ甚タ不明確ノモノナルヲ以テ在北京外交団ニ於テハ実施期日ヲ明確ナラシムルノ趣旨ニ於テ曩ニ支那政府ニ対シ十二月一日ヨリ二週間以前ニ關係国全部ノ承認ヲ了セサル場合ニハ支那政府ニ於テ最後ノ国ノ承認アリタル日ニ於テ告示ヲ出シ右告示後二週間ヲ經テ新税率ヲ實施スルコトトシタキ旨ヲ申入レタリ尤モ右申込ニ対シテハ支那政府ニ於テ未タ同意ノ旨回答セサルモ兎ニ角新税率ハ未タ關係国全部ノ承認ヲ經サルヲ以テ之レカ実施期ハ所定

ノ十二月一日ヨリ相当遅ルヘシト思ハル

四、附属規程ノ説明

現行ノ附属規程ハ一九〇二年現実五分改訂ノ際ニ規定セラレタルモノニシテ(一)輸入税率表ノ適用方法(二)輸入者ト税関トノ間ニ生スヘキ紛議ノ解決方法(三)免税品及四禁制品ニ関スル規定等ヲ含メルモノナルカ今回ノ改訂會議ニ於テハ右ノ内紛議ノ解決方法ニ付税関長ニ対スル再審ノ請求及再審中ニ於ケル輸入貨物ノ仮引渡等ニ関スル從來ノ慣行ヲ条文トシテ追加シタルニ止マルモノナルカ新税率ノ実施ト同時ニ適用セラルコトナルヘシ

五、新税率承認ニ関スル手續概要

新税率ハ上海関税會議ニ於テ九月末ニ議定セラレタルヲ以テ不取敢十月一日右税率ノ梗概ヲ發表スルト同時ニ帝國政府ニ於テ之ニ対シ承認ヲ与フヘキヤ否ヤノ態度ヲ決定スル為先ツ當時有シタル材料ヲ基礎トシテ改訂税率ノ对支貿易ニ及ホス影響ノ研究ニ着手セシメタルカ右影響ハ委員會ヨリ提出セラレタルモノノ外諸種ノ資料ヲ基礎トシテ各方面ヨリ慎重攻究スルニ非スムハ正確ニ之ヲ知り難キモノアリタル為右研究ノ完成ニハ相当ノ日子ヲ要

シタリシカ結局之ニ承認ヲ与ヘ差支ナキモノト思考セラレタルニ付本月十一日附ヲ以テ上奏方ニ付閣議稟請ヲナシ同十四日閣議ノ決定ヲ見タリ尚今回ノ改訂税率實施承認方ニ関シ我ニ於テハ日支親善ノ誼ニ依リ最先ニ之カ手續ヲ採ルコトニ異議ナカリシニ拘ラス此ノ如ク後レタル理由ハ一面本邦ノ对支貿易關係カ他國ノ夫レニ比シ甚タ重要ニシテ上記新税率ノ之ニ及ホス影響ニ付テハ最モ慎重ナル研究ヲナスノ要アリタルト他面他ノ列國ニ於テハ之カ承認ヲ与フルニ付一般諸條約ノ如ク憲法上ノ權限アル機關ニ附議スルコトナク概ネ簡易ナル手續ヲ執リタルトニ因ル

一三五 十一月十五日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国新関税率承認方外交部ヨリ依頼アリタル
旨報告竝日仏伊以外ノ諸國ハ承認済ニ付我方
モ早急承認スル様稟請ノ件

第七二〇号 至急 (十一月十六日接受)

貴電第五七九号ニ関シ

十一月十日附外交部公文ヲ以テ新関税率ハ既ニ英、米、白、

蘭、丁抹各國ノ承認アリタルニ付十二月一日ヨリ一律實施出來得ル様至急承認アリタキ旨依頼シ來レリ聞ク所ニ抛レバ葡萄牙、伯刺西爾モ同様数日中ニ通告ノ答ナル由ナリ尚十一月十四日米國公使及和蘭公使ノ本使ニ語ル所ニ依ルモ

日、仏、伊三國ヲ除キ他ノ主ナル國ハ孰レモ改訂関税率ニ同意ノ旨支那政府ニ通告ヲ了セル趣ナリ尚米國公使ハ仏國公使ノ言ニ依レバ同國モ遠カラズ同意ノ通告ヲナス運ニ至ルベキ由ナルモ唯伊太利ノミハ同意ノ条件トシテ二三懸案解決ヲ持出シ居ル趣ニ付最近本國ニ於ケル政府ノ更迭ニ伴ヒ結局如何ナル結果トナルヤ逆睹シ難シト述べ日本ハ何時頃同意ノ通告ヲナス意向ナリヤト尋ネタルニ付本使ハ目下政府ニ於テ樞密院ヘ附議方取運中ナリト考フルニ付右結了次第通告ノ運ニ至ルベシト答ヘ置ケリ

尚申ス迄モ無キ次第ナルガ本件ハ税率ノ承認ト共ニ實施期日(十二月一日)ノ承認ヲモ与フルモノナレバ御來示ノ如ク我方ノ承認通告ガ十一月末乃至十二月以後ニ亘ル場合ニハ實施期日ニ関スル我提案ノ手前甚ダ妙ナル羽目ニ立至ルベク一面上海方面ノ支那新聞中ニハ日本ハ十二月一日實施ニ反对シ居レリト伝ヘ居ルモノスラアリ斯ル次第ニ付前記

貴電末段御來示ノ次第ハアルモ此際追加告示ノ督促ヲナスハ却テ誤解ヲ招ク惧アルヲ以テ大勢ニ鑑ミ一日モ早ク承認ヲ与ヘ我方ニ於テ實施期日遅延ニ対スル責任ヲ引受ケザル様特ニ御配慮ヲ請フ

上海ニ転電シ商務官ニ伝ヘシム

註 十一月七日内田外務大臣宛小幡公使宛電報第五七九号省略
セリ右ハ我方ハ中国新関税率承認ノ手續ヲ急グベキモ承認ハ早クトモ十一月末ノ見込ナルガ各國ガ悉ク十一月中旬以前ニ承認スルコト到底不可能ナルベキニ付中国側ヲシテ我方提案ノ實施期日ニ関スル告示ヲ速ニ出サシムル様訓令セ
ルモノナリ

一三六 十一月十六日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

新関税率實施方ニ関スル中国側照会ニ付報告
シ回答振ニ付請訓ノ件

附属書一 九月三十日附額外交総長ヨリ小幡公使宛來翰
定字第三三四号

二 新税率十二月一日實施ニ付照会ノ件
十月十四日附額外交総長ヨリ小幡公使宛來翰
定字第二四六号

改訂税率ハ中国ト各國間新發生ノ約定事項ト

同一視スベカラザル旨諒解方照会ノ件

三 十一月十日附顔外交総長ヨリ小幡公使宛来翰
定字第二七七号

新税率速ニ承認ノ回答アリタキ旨照会ノ件

機密第五〇五号

(十一月二十一日接受)

大正十一年十一月十六日

在支那

特命全權公使 小幡 西吉(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

改定海関税則実施方ニ関スル件

本件ニ関シ顧外交総長ヨリ九月三十日附書面ヲ以テ改訂関税輸入税則ハ既ニ大会ニ於テ正式ニ通過シ本年十月一日日本新税則公布ノ期トシ公布後二ヶ月即チ十二月一日ニ於テ之ヲ実施スルモ十二月一日以前ニ本國ヲ積出シタル貨物ニ對シテハ猶ホ旧税則ヲ適用スルコトナリ居レル旨通報アリ次テ十月十四日附書面ヲ以テ本件現行輸入税則ハ民國七年ノ約定ニ照ラシ歐戰後二ケ年ニ於テ改訂ヲ行フヘク客年秋間既ニ貴公使ニ提議シ繼テ華盛頓會議ニ於ケル中国関税議案ノ際ニ於テモ此種改訂税則ハ中国ト各國間新發生ノ約

右 照 会

大日本国欽命駐華全權公使小幡

中華民國十一年九月三十日

(附屬書二)

十月十四日附顔外交総長ヨリ小幡公使宛来翰定字第二四六号
改訂税率ハ中国ト各國間新發生ノ約定事項ト同一視スベカラザル旨諒解方照会ノ件

照会定字第二四六号

外交総長顧為照会事關於新修海関進口税則定期公布実行

一事業経本部於九月三十日照会

貴公使查照在案查現行進口税則按照民國七年成約應於歐戰後兩年重行修改本部於上年秋間業即按期向

貴公使提議嗣在華府會議中国関税案内復行附屬声明係為迅速弁理起見未可視為中国与各國間新發生之約定事項相

應照会

貴公使查照轉達

貴国政府与以諒解並從速復允至深感盼須至照会者

右 照 会

大日本国欽命駐華全權公使小幡

中華民國十一年十月十四日

定事項ト同一視スヘカラサル旨声明ヲ加ヘ置キタル次第ニ付此旨日本国政府ノ諒解ヲ得度云云照会有之更ニ十一月十日附書面ヲ以テ本件新税則ニ関シテハ現ニ英、米、和蘭、白耳義、丁抹国公使ヨリ夫々賛同ノ回答ヲ得タル次第ニ付日本政府ニ於テモ速ニ承認ノ回答ヲ与ヘラルル様取計ハレ度旨重ネテ照会致越候就テハ委曲別紙写ニテ御査閱ノ上先方ヘ回答振電報ヲ以テ御回示相成様致度此段申進候也

(附屬書一)

九月三十日附顔外交総長ヨリ小幡公使宛来翰定字第三三四号
新税率十二月一日実施ニ付照会ノ件

照会定字第三三四号

外交総長顧為照会事扼上海修改税則委员会主任蔡廷幹電称此次新修海関進口税則業經大会正式通過並議決以本年十月一日為此項新税則公布之期於公布後兩月即十二月一日施行其在十二月一日以前起運来華之貨物仍照旧則徵稅由各國委員声請各本國政府允行等因除由該管機關如期公布外相應照会
貴公使查照並希轉達
貴国政府為荷須至照会者

(附屬書三)

十一月十日附顔外交総長ヨリ小幡公使宛来翰定字第二七七号
新税率速ニ承認ノ回答アリタキ旨照会ノ件

照会定字第二七七号

外交総長顧為照会事關於新修海関進口税則定期公布実行
一行業経本部於九月三十日暨十月十四日兩次照請

貴公使查照轉達

貴国政府從速允行在案尚未准復此項新修税則現在已准英美和比丹等國公使復文贊同中国政府深願早日一律施行現距十二月一日实行日期不遠相應再行照会

貴公使查照希電達

貴国政府迅与允認並見復為荷須至照会者

右 照 会

大日本国欽命駐華全權公使小幡

中華民國十一年十一月十日

一三七 十一月二十二日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

中国新関税率實施ノ承認ノ我方遲延ニ備ヘ執

ルベキ措置並仏伊兩國ノ態度回電方訓令ノ件

別 電 同日内田外務大臣宛在中國小幡公使宛電報第六

一五号

新稅率實施ニ関スル条件

第六一四号(至急)

貴電第七二〇号ニ関シ

(一)我方ニ於テハ往電第五七九号ノ通手續ヲ急キ居ルモ目下殿下四国行啓ノ折柄万事好都合ニ進捗シテモ本月末日位ニ承認ノ電報ヲ發シ得ル予定ナルニ付テハ貴官ニ於テハ前以テ別電第六一五号方針ニ基キ公文ヲ作成ノ上右承認ノ電報接到ト同時ニ之ヲ支那側ニ交付セラルコト致シタシ尤モ本件至急取計方ニ付最善ノ努力ヲナシ居ルモ前記承認ノ電報ハ或ハ三十日中ニ間ニ合ハサルコトアルヤモ計リ難ク然ルニ其ノ場合ニ若シ仏伊兩國側ニ於テ既ニ承認ノ通告ヲ濟マセ居リ本邦ニ於テ實施遲延ノ責任ヲ負ハサル様ノ事態ヲ見ルカ如キ場合ニハ或ハ臨機ノ処置ヲ執リ先ツ十一月三十日附ニテ仮承認ノ通告ヲ為シ爾後ニ至リ之ヲ確認スル等ノ便法ヲ採ルノ必要アルナキヤモ考量中ナルニ付右御含ミノ上上記兩國ノ態度及貴電第六九一号實施猶予期日ニ関スル支那及列國ノ態度至急御回電アリタシ

(二)樞密院ニ對スル説明上必要ニ付今日迄ニ承認通告濟ノ国

以テ右新稅率ヲ陸境ニ適用スルニ當リテハ從來ノ通各陸境共所定ノ率ニ依リ輕減ヲナスコト

三、小幡公使來電第六九一号首席公使ヨリ外交部ニ申入レタル趣旨ニ從ヒ支那政府ヲシテ實施期日確定方ニ関スル手續ヲ実行セシムルコトハ緊要ナルニ付同公使ノ見込ニ依リ成ルヘクハ更ニ實施承認ノ公文中ニ於テ支那側ニ對シ之レカ実行方ニ付督促ヲナシ置クコト

一三八 十一月二十五日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

仏國ハ中国ノ新稅率承認濟、伊國ハ未承認
及新稅率實施期日確定方ニ関スル態度ニ付

報告ノ件

第七三〇号(至急)

(十一月二十六日接受)

貴電第六一四号ニ関シ

(一)仏國ハ華府條約實施ナキ為陸境關稅ノ輕減方並新稅率實施ニ関スル最惠國條款ノ適用方ニ付貴電第六一五号ノ一及二御來示ト略同様ノ趣旨ヲ記載セル外交部宛十一月十六日附公文ヲ以テ新稅率承認通告濟又伊國ハ未ダ承認通告方ノ回電ナク本月中ニ果シテ通告ヲ了シ得ベキヤ否ヤ不明ナリ

名全部御確メノ上折返シ電報アリタシ

本電別電ト共ニ在上海總領事ニ轉電シ商務官ニ伝ヘシメラ
レタシ

(別電)

十一月二十二日内田外務大臣宛在中国小幡公使宛電報第六一五号

新稅率實施ニ関スル条件

第六一五号

一、帝國政府ニ於テハ十一月三十日以前ニ改訂稅率ノ實施承認ヲ支那政府ニ通告スルコト尤モ右實施ハ關係各國ノ全部力之ヲ承認スルコトヲ条件トスルモノニシテ万一關係國中一國ノ貨物ニ對シ新稅率ヲ適用セサルカ如キ場合ニハ最惠國條款ノ適用上帝國ノ貨物ニ對シテモ亦之ヲ實施セサルハ勿論ナルニ付此ノ点ニ関シ誤解ヲ避クルカ為特ニ支那政府ノ注意ヲ喚起シ置クコト

二、新稅率ヲ陸境ニ適用スルコトハ其ノ海路ニ於ケル適用ト其ノ趣ヲ異ニスルモ帝國政府ニ於テハ關係各國ノ全部力之カ實施ヲ承認スルコトヲ条件トシテ海路輸入貨物ト同時ニ新稅率ノ陸境適用方ヲモ承認スルコト尤モ華府會議調印支那ノ關稅ニ関スル條約ハ未タ實施セラレサルヲ

ト云フ

(二)實施期日確定方ニ関スル外交團ノ申入ニ對シテハ支那側ヨリ未ダ何等ノ回答ナシ右ニ関シ支那側ノ意嚮ハ最初上海關稅改訂會議ニ於テ實施期日ニ関スル提案ヲ為スニ至リ華府條約ニ準拠シテ公布期日ヲ十月一日ヨリトシ實施期日ヲ其ニケ月後即チ十二月一日トスベシト主張シ英米側委員ニ於テモ我委員ノ注意ニ依リ始メテ華府條約カ未ダ實施力ヲ有セザルコトニ氣付キタル次第ハ既ニ御承知ノ通ニテ當時支那委員ハ縱シ同條約ハ實施力ナシトスルモ既ニ列國ノ調印ヲ得タルモノナレバ其精神ニ基キ之ニ準拠シテ公布期日ヲ十月一日實施期日ヲ十二月一日トスベキコトヲ固執シ英米側亦反對ノ意向ナク結局我方ノ主張ヲモ斟酌シテ九月二十五日ノ總會ニ於テ各國委員ハ(一)各本國政府ノ承認ヲ条件トシテ小委員會報告ノ新稅率ニ同意シ(二)新稅率ノ公布期日ヲ十月一日實施期日ヲ夫ヨリ二ケ月後即チ十二月一日トスルコトニ各自本國政府ニ「リコメンド」スベキ旨決議セル次第ナルガ從テ「テクニカリチー」ニ於テ批難スベキ点ハアリタルニセヨ支那側ニ於テハ右ニ依リ新稅率表ヲ十月一日附ニテ公表スルト共ニ十二月一日實施方ニ関スル海關告

示ヲ出シタル次第ニシテ法規上ハ列国ノ承認出揃ハザル限リ実施力ヲ生ゼズトスルモ既ニ二ヶ月間ノ公示期間ヲ置ケル以上商人側ニ於テ充分新税率ヲ熟知スルニ充分ナルベク且既ニ改訂委員会ノ決議ヲ以テ十二月一日ヲ以テ実施期日ト為スベキコトヲ各自本国政府ニ進達スルコトセル以上各国ノ承認ハ当然右期日迄ニ税率自体ト実施期日ニ付テノ承認ヲ与フルモノト解シ居リ現ニ白耳義ノ如キモ十一月十五日附承認通告中右ノ二点ニ付承認ヲ与ヘ居ル次第ナルヲ以テ上海税関告示中ノ「subject to the approval of the governments concerned」ノ如キモ畢竟單純ナル解除条件ニ過ギズシテ当日迄ニ各国ノ承認アラバ当然右告示通り十二月一日ヨリ実施ス可キモノト解釈シ其ノ為右期日迄ニ承認ノ出揃フコトヲ焦リ居ルガ如ク他面一九一九年改訂ノ際戦後二ヶ年ヲ以テ再ビ改訂ス可キ旨ヲ決議シ爾來右ニ関シ屢支那政府ヨリ申出デアリタル次第ニテ今日迄其ノ実行ノ遅レタルハ支那ニ取リ甚ダ數損害ニシテ当然一日モ早く新税率実施方同意ヲ与ヘラレ可然キモノナリト考ヘ居リ現ニ往電第六五^(註)一号ノ通り総稅務司ハ我方提案ノ如キハ畢竟手続上ノ問題ニ過ギズシテ是非トモ十二月一日ヨリ実施方ヲ

第七三九号(至急)

(十一月二十八日接受)

天津税関ハ十一月二十七日附ヲ以テ關係各国ノ承認未ダ終ラザルニ付新税率ハ支那政府ヨリ何等訓令アル迄實施セザル旨告示セリ

一四〇 十二月一日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

中国新関税率承認ニ関スル中国政府宛通告公

文写送付ノ件

附屬書 十一月二十九日附小幡公使ヨリ顧外交總長宛公
文第二二六号写

附記 十二月一日附官報掲載ノ中国新輸入税率實施承認ニ関スル外務省告示第四十九号

機密第五三八号

大正十一年十二月一日

在支那

特命全權公使 小幡 西吉(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

一九二二年改訂支那輸入税率承認方ニ関スル件

本件ニ関シ御來訓ノ趣旨ニ基キ外交部ニ対シ十一月二十九

希望シ居レルガ如ク此点ニ就キ我方ノ見解ト余程ノ相違アリ將又他外国側ニ於テモ上海改訂委員会ニ於テ本国ノ承認ハ極メテ無造作ニ得ラル可キ旨言明シ手続上ノ問題ハ兎モ角孰レ承認ヲ与フルモノナラバ寧ろ率先シテ之ヲ与ヘ好意ヲ示サムトセルハ当然ノ儀ト言フ可ク現ニ顧維鈞ハ本件ニ対シ遠隔ノ欧米各国ノ承認アリタルニ不拘近キ日本ノ承認無キコトニ付嫌味ヲ述べ居リタル様ノ次第ニテ実ハ外交団ニ対スル我方提案ノ如キモ格別異議ナク通過セシト云フ迄ニテ唯米國ハ本国政府ニ請訓ノ結果承認通告中ニ我方提案ノ趣旨ヲ記載シタル趣ナルモ(尤モ十一月十五日前ノ事ナリ)其他ハ格別問題ト為シ居ラザルガ如シ

尚今日迄ニ通告ヲ了シタル國名確メ中ニ付判明次第電報スベシ

上海へ転電シ商務官ニ伝ヘシム

註 小幡公使十月十四日發第六五一号ヲ省略セリ

一三九 十一月二十八日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
關係各国ノ承認未了ニ付新関税率實施見合ノ
旨天津税関告示ノ件

日附公文ヲ以テ其ノ承認ヲ通告セル次第ハ不取敢往電第七^(註)四三号ヲ以テ及報告置候処右外交部宛公文写茲許及御送附候条御査閱相成度此段申進候也

本信写送付先 上海 在上海横竹商務官

註 小幡公使十一月二十九日發第七四三号ヲ省略セリ

(附屬書)

十一月二十九日附小幡公使ヨリ顧外交總長宛公文第二二六号写
中国新関税率承認ノ旨通告ノ件

第二二六号

以書翰致啓上候陳者曩ニ上海関税改訂委員会ニ於テ各關係國政府ノ承認ヲ条件トシテ採択セル千九百二十二年改訂貴國輸入関稅税率及其ノ附則承認方ニ関シ本年九月三十日附貴翰ヲ以テ御來照ノ次第有之爾來帝國政府ニ於テハ折角國法上ノ手續履行中ノ処今般之裁可ヲ經タルヲ以テ茲ニ貴國政府ニ対シ本件改訂税率及其ノ附則ヲ承認致候尤是力實施方ニ就テハ制規ノ通關係各国全部ノ承認ヲ条件トスル次第ニシテ万ニ一關係國中ノ或一國ノ貨物ニ対シ新税率ノ適用ヲ見ルニ至サルカ若クハ該税率ヨリモ低キ関税率ヲ賦課セラルルカ如キ場合ニハ当然貴我條約ノ規定セル最惠國条

款ニ依リ之カ利益ニ均霑スヘキハ申ス迄モ無キ儀ニ有之候
將又陸境関税ニ就テハ海路ノ場合トハ其ノ趣ヲ異ニスル次
第ナル処曩ニ華府會議ニ於テ調印セラレタル貴国関税ニ関
スル条約ハ未タ実施ノ運ニ至ラサルノ事實ニ鑑ミ帝国政府
ニ於テハ是亦關係各国全部ノ承認アルコトヲ条件トシ各陸
境共從來ノ通所定ノ輕減率ニ抛リ其ノ海路輸入貨物ニ対ス
ルト同時ニ新税率ヲ適用セラルコトニ異議無之尤モ実施
期日以前ノ積出ニ掛ル貨物ニ対シテハ旧税率ヲ適用セラル
ヘキハ海路ノ場合ト同様ノ儀ト思料致候

尚帝国政府ニ於テハ新税率実施期日正式確定ノ上ハ予メ相
当期間前ニ一般輸入商人ニ告知スルコト其ノ取引ノ安全並
ニ利益保護上極メテ緊要ノ儀ト思料致候処本件ニ就テハ曩
ニ既ニ外交団首席公使ヨリ貴国政府ニ申入ノ次第有之旁右
ノ趣旨ニ依リ至急御措置相成様致度候此段帝国政府ノ訓令
ニ依リ照会得貴意候 敬具

大正十一年十一月廿九日

日本帝国特命全權公使 小幡 西吉

支那共和国外交總長 顧維鈞殿

(附記)

施スル旨ノ情報報告ノ件

第七五五号

往電第七四八号ニ関シ

(十二月十日接受)

情報ニ拠レバ伊太利ノ態度如何ニ拘ラズ外交部ト稅務署ト
協議ノ上新税率ヲ強制実施スルコトニ閣議ニ於テ決定シ六
日附ヲ以テ國務院ヨリ外交部ニ其旨通告セル由ナリ
在上海總領事ヘ転電セリ

註 小幡公使十二月五日發第七四八号ヲ省略セルガ右ハ伊太利
ノ新関税率未承認ニ関スル報告ナリ

一四二 十二月二十一日 内田外務大臣ヨリ
在英國德川臨時代理大使宛(電報)

中国関税改訂會議ノ經過通報ノ件

第四一六号
貴電第七三六号ニ関シ

本年一月支那政府ハ關係各国ニ対シ戰後二年再改訂ニ関ス
ル前約及華府関税条約ノ精神ニ基キ関税改訂會議ノ開催方
ヲ招請シ其結果去ル三月三十一日以来日、英、米、仏、伊
白、和、西、葡、丁、瑞典、諸、伯、及支那ノ十四ヶ国委

三 中国関税改訂ニ関スル件 一四二

大正十一年十二月一日附官報掲載ノ中国新輸入税率實施承認ニ
関スル外務省告示

外務省告示第四十九号

本年一月帝国政府ハ關係各国ト共ニ支那輸入税率現實五分
改訂ニ関スル同国政府ノ提議ヲ応諾シ其ノ結果帝国政府ノ
任命セル委員ハ本年四月以来關係各国ノ委員ト上海ニ会同
シテ右税率改訂ニ関スル協議ヲ為シタル上去ル九月二十五
日左記改訂輸入税率案ヲ議定セル処帝国政府ニ於テハ客月
二十九日附ヲ以テ在支帝国公使ヲシテ支那政府ニ対シ右改
訂税率實施方承認ヲ通告セシメタリ
仍テ右改訂税率ハ關係各国全部ノ承認ヲ了シタル後實施セ
ラルヘク尤モ右實施ノ日以前ニ本國港ヨリ積送セラレタル
貨物ハ引続キ改訂以前ノ税率ニ依ルヘキモノトス

大正十一年十二月一日

外務大臣伯爵 内田 康哉

(税率表ハ本月上旬公表)

一四一 十二月九日

在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国政府ハ伊國ノ態度ニ拘ラズ新関税率ヲ実

員ハ上海ニ會議ヲ開キ一九二二年十月乃至一九二二年三月
ノ六ヶ月間ニ於ケル上海平均市価ヲ以テ税率算定ノ基礎価
格ト為スコト並綿布及綿絲ニ付テハ右期間内ニ於ケル平均
増価指数ニ依リ現行税率ヲ一律ニ増率スヘキコトノ原則ヲ
定メ右原則ニ基キテ税率ノ算定等ニツキ審議ヲ遂ケ更ニ附
属規程ノ修正ヲモ審議シ去ル九月二十八日ヲ以テ改訂輸入
税率案ヲ議定シテ閉会セリ

而シテ右新税率ノ實施方ニ付テハ前記華府条約ノ精神ニ遵
ヒ關係各国全部ノ承認ヲ得タル上本年十二月一日ヨリ實施
ノ運ニ至ラシムヘキ様委員會ヨリ各国政府ニ対シ勸告シ帝
国政府ニ於テハ去ル十一月二十九日附ヲ以テ新税率ノ承認
ヲ通告シ關係各国ニ於テモ伊太利ヲ除キテハ全部十一月中
ニ實施承認ヲ与ヘタル処伊國側ニ於テハ新税率承認ノ交換
条件ヲ提出シ支那側ニ於テハ拒絕シタルタメ今ニ至ル迄
新税率ヲ承認セス為ニ新税率ハ今猶實施セラレサルノ状態
ニ在リ從テ今ノ処伊國ハ新税率實施遅延ノ責ヲ負ハサレ居
ルモノナルカ支那ハ本件解決ヲ外交団ノ議ニ付スヘシトノ
情報アリシモ今日ノ処支那側ヨリ未タ斯ノ如キ申込ヲ為ス
ニ至ラス

本電在米、仏、伊、白、独、蘭各大公使ニ郵送アリタシ
註 同電ハ徳川臨時代理大使十二月十八日發電ニシテ関税会議
ノ經過通報方稟請セシモノナリ

事項四 日本公使館ニ於テ安福派領袖庇護一件

一四三 一月二日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

我兵營ニ收容中ノ安福派領袖特赦問題ニ関シ

報告ノ件

第二号

(一月三日接受)

兵營禍首特赦ノ件ニ付テハ本使過日梁總理ニ会见ノ節ニモ
至急実行方ヲ懇願シタルニ全部一度ニハ困難ナル事情アル
ニ付幾回カニ分チ行フ管ニ付御了承アリタシト答ヘ又三十
一日張作霖本使来訪ノ節ニモ自分ハ当初ヨリ全部特赦ヲ主
張セルモ曹錕ハ是ヲ承知セズ。右ハ直隸派ニ於テ主トシテ
王郅隆ノ特赦後ノ行動ヲ怖ルル為ナラント考ヘラルルニ付
兩三日中ニ帰奉ノ途次天津ニ於テ省長曹錕ニモ充分勧誘シ
特赦ニ賛成セシムル考ナリト述ベタリ。尚ホ段芝貴等六名
(段以下ノ軍人ノミニテ兵營禍首ハ段ノミナリ)ハ一月一日
大總統令ニ依リ其ノ逮捕ヲ免セラレタルヲ以テ段ハ直チニ
本使ヲ来訪シ今日迄ノ保護ニ関シ日本政府ノ好意ヲ深謝シ
同日兵營ヲ退出スヘキ旨述ヘタルニ付館員ヲシテ劉金標ノ
宅ニ送ラシメタリ、同人ハ不日天津ノ自宅ニ帰ル管ナリ。

四 日本公使館ニ於テ安福派領袖庇護一件 一四三 一四四

天津へ郵送セリ

一四四

一月二十二日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

我兵營ニ收容中ノ安福派領袖ノ特赦乃至脱出

ニ付朱深及姚震ノ西田ニ対シ為セル談話内容

報告ノ件

第三九号(極秘)

(一月二十二日接受)

最近兵營ニ在ル朱深、姚震ノ需ニ依リ西田会见シタル処右
兩人ハ残留セル七人ヲ代表セリト前言シ既ニ一年半モ御厄
介ニ成レルガ時世ハ大分変化シ来リ殊ニ奉直ノ争鬭モ愈々
遠カラズ実現セラルヘキ形勢ニ近付キツツアルガ現時ノ状
況ニテハ奉天派ガ(段モ呉ニハ反对セリ)南方孫文等ト十分
ナル握手ヲ為サザル限り確實ニ直隸派ヲ圧迫スルコト不可
能ト認メラルル処張作霖ト孫文トハ代表ノ交換アリ聯絡ノ
意アルモ孫ハ未タ張ヲ信用セズ張ノ代表ニ対シ万事段祺瑞
ヲ経テ話シアリタシト申出デタルガ張モ段ヲ仲介トスルニ
アラザレバ孫文等ヲ信ジ難キ事情アリ然ルニ前述段派督軍